第113表・西川津遺跡Ⅴ区出土・須恵器観察表（4）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
80図－23	FT－4	提瓶？	V－1－2 細砂	7.0	3.1		外反する口縁部のみ	良好	密（1㎜程度の石英・長石などを僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ	全面：灰色	口縁部のみ	出雲大谷4～5期
－24	FT－2	提瓶	V－4－1 砂レキC	7.3	8.7		口縁はやや外傾して長く伸びる肩部には把手の退化した棒状の粘土を貼付する	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 胴部外面：回転カキメ	外・断面：淡青灰色 内面：褐灰色	口縁部残存	出雲大谷4期 TK－209
－25	FT－1	提瓶	V－1－1 砂レキ2 V－4－1	10.5	17.3		肩部には把手の退化したボタン状の粘土を貼付する。頸部と胴部では使用する粘土が異なる	良好	密（2㎜以下の石英・黒色粒等を若干含む）	口縁部：回転ヨコナデ 胴部外面：上半側は回転ヨコナデ。底面側は平行タタキ 内面：回転ヨコナデ。一部にタタキ痕	頸部内外面：灰白色 胴部内外面：明灰色	約4/5	出雲大谷4期 TK－209
－26	FU－3	長頸壺	V－4－3 砂レキB		5.6		頸部に2条の沈線を施す	良好	緻密（1㎜以下の石英・長石を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ	表面：黒灰色 断面：暗紫褐色	頸基部 約1／4	出雲大谷7～8期
－27	FU－11	長頸壺	V－1－2 粗砂		4.7		肩部が張る	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ	外面：暗灰色 内・断面：暗青灰色	肩部 約1／8	出雲大谷7～8期
－28	FU－1	長頸壺	V－1－2 砂レキ3		10.2		肩部が張る	良好	密（1.5㎜以下の石英・長石・黒色粒を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ	表面：明灰色 断面：淡灰色	胴部のみ	出雲大谷7～8期
－29	FU－4	広口壺	V－4－1 砂レキB		8.6		肩部が張る	良好堅緻	やや密（1.5㎜以下の石英・長石を多く含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ	外面：暗灰色 内面：暗褐灰色 断面：淡褐灰色	頸・肩部 約1/3	出雲大谷7～8期
－30	FU－2	長頸壺	V－4－3 砂レキX		13.3		肩部が張る	良好堅緻	緻密（0.5㎜以下の石英・長石を含む）	外面：回転ヨコナデ。下半は平行タタキ 内面：回転ヨコナデ。下半は同心円文オサエ痕	表面：黒灰色 断面：淡灰色	胴部 約1／6	出雲大谷7～8期
－31	FW－1	提瓶	V－1－1 砂レキ2	11.7	5.0		口縁下に凹線を入れ、複合口縁状を呈する	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ	全面：淡灰色	口縁部 約1／8	出雲大谷4期 TK－209
－32	FW－5	甕	V－1－1 西細砂		2.2	5.6	底部は回転糸切り	やや良好	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ 底部：回転糸切り	外面：暗灰色 内・断面：淡灰色	底部 約1／2	出雲大谷9期
－33	FL－3	中型甕	V－4－3 砂レキY	15.2	3.8		口縁は大きく外反する	良好	密(0.5㎜以下の石英・長石を含む)	口縁部：回転ヨコナデ	表面：黒灰色 断面：淡灰色	口縁部 約1／5	
－34	FL－4	中型甕	V－4－3 砂レキZ	33.0	4.2		僅かに複合口縁状を呈する	良好	密(1.5㎜以下の石英・長石を含む)	口縁部：回転ヨコナデ	外面：淡灰色 内・断面：淡黄褐色	口縁部 約1／16	
－35	FL－2	中型甕	V－1－1 南砂レキ	22.2	5.3		口縁部は短く外傾して、端部は丸く収める	良好	密（2㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 胴部内面：同心円文オサエ痕	外・断面：暗灰色 内面：黒灰色	口縁部 約1／12	
－36	FL－1	中型甕	V－4－1 砂レキA	10.8	5.8		口縁は直立気味に短く内彎して立ち上がる	良好堅緻	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 胴部外面：平行タタキ 胴部内面：同心円文オサエ痕	外面：濃灰色 内面：淡青灰色 断面：黒灰色	口縁部 約1／6	
82図－1	FY－2	杯蓋	V－1－1 砂レキ2	15.8	2.8		輪状つまみは面を持たず、内側から強くなでる。口縁端部の立ち上がりは残存している	良好	密（1㎜程度の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：褐灰色 内・断面：淡灰色	約1/4	7世紀後半
－2	FY－1	杯蓋	V－1－1 砂レキ	13.3	2.5		輪状つまみは面を持たず、内側から強くなでる。口縁端部の立ち上がりは残存している	良好	密（1㎜前後の石英・長石等を少々含む）	口縁部：回転ヨコナデ 天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡灰色	約2/5	7世紀後半
－3	FY－5	杯蓋	V－4－1 砂レキB		2.1		輪状つまみは面を持たず、内側から強くなでる	良好堅緻	緻密（1㎜以下の石英・長石を含む）	天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：明灰色 内・断面：淡灰色	輪状つまみ部 約1/4	7世紀後半
－4	FY－4	杯蓋	V－4－1 砂レキB		1.1		輪状つまみは面取りを指向するが面にはなっていない	良好	緻密（0.5㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	天井部：回転糸切り後、ナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：淡茶褐色	天井部 約1／2	7世紀末
－5	GB－1	杯身	V－4－3 砂レキA	13.8	4.4	10.1	口縁端部はやや外側に摘み出す。底部は平らにはならない	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ 底部：回転糸切り	全面：暗青灰色	約1／3	7世紀末
－6	GC－2	高台付皿	V－1－2 砂レキ2	16.4	4.5	8.3	杯部は強い屈曲もなく、緩やかに立ち上がり、脚端部も面はなく丸く仕上げている	良好	密（1.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：暗青灰色	約2/5	7世紀末
－7	GC－3	高台付椀	V－4－3 砂レキA	13.0	4.5	8.1	口縁部はやや内彎気味に立ち上がる。脚端部は丸く仕上げる	普通	やや粗（4㎜以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒を多く含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：暗青灰色 底部外面：暗褐灰色	口縁部は僅かに残存	7世紀末 底部に「×」のヘラ記号
－8	GC－1	高台付椀	V－1－2 砂レキ3	12.7	5.9	5.7	口縁部はやや内彎気味に立ち上がる。外側に踏ん張り気味の脚端部は丸く仕上げる	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：暗褐灰色	完形	7世紀末
－9	GE－2	杯蓋	V－1－1 砂レキ2		2.5		輪状つまみは上部に面を持つ	普通	やや密（1㎜以下の石英・長石等を含む）	天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：淡青灰色	天井部 約1／3	7世紀末～8世紀前
－10	GE－11	杯蓋	V－4－3		1.9		輪状つまみの上面は面を指向しているが、不完全。	やや良好	やや粗（2.5㎜以下の石英・長石・黒色粒を含む）	天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：暗青灰色	天井部 約1／3	7世紀末～8世紀前

第114表・西川津遺跡Ⅴ区出土・須恵器観察表（5）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
82図－11	GE－3	杯蓋	V－1－2 砂レキ3		1.5		輪状つまみの上面は面を指向しているが、不完全。	良好	密（2㎜以下の石英・長石を含む。タール状のシミが僅かに認められる）	天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：淡灰色	天井部 約1/2	7世紀末～8世紀前
－12	GE－10	杯蓋	V－4－3 砂レキA		1.7		輪状つまみは上部に面を持つ	良好堅緻	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	天井部：回転ヘラケズリ後、回転ヨコナデ 内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：黒灰色 内・断面：暗紫褐色	天井部 約1/2	7世紀末～8世紀前
－13	GJ－3	高台付椀	V－4－3	16.0	5.6	9.2	口縁部は僅かに外反する。高台端部には凹面を持つ	良好	密（3㎜以下の長石・黒色粒を僅かに含む）	全面：ヨコナデ	表面：暗青灰色	約1/4	8世紀初～前
－14	GJ－2	高台付椀	V－4－1 砂レキC	14.5	5.5	7.9	口縁部は僅かに内彎気味に立ち上がり、高台端部は面を指向するが不完全	良好	やや密（1.5㎜以下の石英・長石等を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：静止糸切り後、ナデ	外面：明灰色 内面：淡褐灰色 断面：淡灰色	約1/4	7世紀末～8世紀前
－15	GJ－1	杯身	V－1－1 南砂レキ	13.8	4.4	9.2	口縁部は僅かに内彎気味に立ち上がり、高台端部は丸く仕上げる	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	全面：回転ヨコナデ	全面：青灰色	約3/10	7世紀後半
－16	GJ－7	高台付椀	V－1－1 南砂レキ		3.6	7.0	高台は高く、端部外面に面を持つ	良好	密（1㎜以下の石英・長石等を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡灰色	底部 約1/2	8世紀初～前
－17	GK－1	杯	V－4－3 砂レキB	17.9	6.0	11.6	口縁部は細く直線的に立ち上がる。高台端部は面取りする	良好	密（2㎜以下の長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：褐灰色	約1/2	8世紀中葉 底部に「井」状のヘラ記号
－18	GK－3	高台付椀	V－1－1 砂レキ2		2.8	10.8	高台端部は面取りする	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	表面：暗灰色 断面：暗紫灰色～暗灰色	約1/12	8世紀初～前
－19	GK－2	高台付椀	V－1－2 砂レキ3		2.1	9.0	高台端部は面を指向するが不完全	普通	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	外・断面：淡灰色 内面：淡褐灰色	約3/10	8世紀初～前
－20	GF－1	椀	V－4－1 砂レキA	11.4	4.0	7.1	口縁端部はやや外側に摘み出す	良好	やや粗（1.5㎜以下の石英・長石を多く含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	表面：暗灰色 断面：淡褐灰色	口縁部の 約1/3は欠損	8世紀後半
－21	GF－6	椀	V－1－2 砂レキ2	12.4	3.0		口縁端部はやや外側に摘み出す	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	杯部：回転ヨコナデ	表面：暗灰色 断面：暗褐灰色	約1/10	8世紀後半
－22	GF－2	杯身	V－1－1 砂レキ2	11.7	4.1		口縁端部はやや外側に摘み出す。糸切りだが底部はやや丸い	良好	密（6㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：暗灰色	約1/2	8世紀後半
－23	GF－3	杯身	V－1－2 砂レキ3	13.2	3.9	9.0	口縁端部は一端内彎した後、外側に摘み出す	普通	密（1㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：淡褐灰色	約3/10	8世紀後半
－24	GG－1	杯身	V－1－1 砂レキ2	12.1	4.4	8.2	口縁端部は内側に肥厚し、アクセントを持たせる	普通	密（1㎜以下の石英・長石・赤色粒を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：淡褐灰色	約3/10	8世紀後半
－25	GG－2	杯身	V－1－2 砂レキ2	12.9	4.1		口縁端部の内側にアクセントを持つ	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ	外面：暗灰色 内・断面：淡青灰色	約1/10	8世紀後半
－26	GG－3	杯身	V－1－1 南細砂	12.9	3.9	8.7	口縁端部の内側に僅かな凹面を持つ	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	杯部：回転ヨコナデ 底部：回転糸切り	外面：暗青灰色 内面：淡褐灰色 断面：淡青灰色	約1/10	8世紀後半
－27	GH－2	杯身	V－4－3 砂レキB	11.3	4.1	6.7	口縁端部外面に沈線を施す	やや良好	やや密（2㎜以下の石英・長石等を含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	口縁部外面：黒灰色 胴部外面：暗青灰色 内面：暗青灰色	約2/3	8世紀後半
－28	GH－4	杯身	V－1－1 砂レキ2	13.8	4.5	7.0	口縁端部は内側に肥厚し、アクセントを持たせる	普通	密（1㎜以下の長石・赤色粒を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	外面：淡褐灰色 内面：暗褐色 断面：褐灰色	約1/4	8世紀後半
－29	GH－5	杯身	V－1－2 古北砂層	14.8	4.3	7.6	口縁部は緩やかに内彎する	良好	密（2㎜程度の石英・長石をやや多く含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	外・断面：褐灰色 内面：暗灰色	約1/4	8世紀後半
－30	GH－1	杯身	V－1－1 砂レキ2	14.1	4.9	9.1	口縁部は緩やかに内彎する	良好	密（1㎜程度の石英・長石を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：暗灰色	完形	8世紀後半
－31	GN－1	高台付盤	V－4－1 砂レキB	17.9	3.9	13.5	高台端部は丸く収める	普通	密（9㎜前後の長石を数個含むが、ほぼ1㎜以下の長石である）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：暗灰色	完形	8世紀前半
－32	GN－2	高台付盤	V－1－1 南砂レキ	19.0	3.7	14.0	口縁部は僅かに外反し、高台端部には僅かに面を持つ	良好	密（3㎜以下の石英・長石を含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：青灰色	約1/4	8世紀前半
－33	GN－3	高台付盤	V－4－1 砂レキB		2.4	15.5	高台端部は丸く収める	普通	密（1㎜以下の石英・長石・赤色粒等を含む）	内面：回転ヨコナデ 底部：ヨコナデ	外面：淡茶褐色 内・断面：淡褐灰色	底部の約1/4	8世紀前半

第115表・西川津遺跡Ⅴ区出土・須恵器観察表（6）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
82図－34	GL－2	Ⅲ	Ⅴ－1－1 西細砂	14.2	2.4	8.0	口縁端部は緩やかに外反する	やや不良	密（2㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒・褐色粒を多く含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：磨滅のため調整不明	全面：淡灰色	約1／2	8世紀後半
－35	GL－3	Ⅲ	Ⅴ－4－1 暗灰色シルト	15.4	2.4	10.2	口縁端部は緩やかに外反する	普通	やや粗（5㎜以下の長石・赤色粒を多く含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	表面：淡茶褐色 口縁端部：黒灰色	約1／4	8世紀後半
－36	GL－17	Ⅲ	Ⅴ－1－2 砂レキ2	14.6	2.5		口縁は短く直線的に立ち上がる	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	表面：暗橙褐色 断面：橙褐色	約1／5	8世紀後半
－37	GL－1	Ⅲ	Ⅴ－1－1 中細砂	16.2	2.5	11.0	口縁端部は緩やかに外反する	良好	密（1㎜以下の長石・黒色粒を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	全面：暗赤褐色	ほぼ完形	8世紀後半
－38	GI－1	椀？	Ⅴ－1－2 砂レキ3		5.0	8.7	器壁は薄い	良好	普通（1㎜程度の石英・長石を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 内面底部：ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部：回転糸切り	表面：暗灰色 断面：暗紫灰色	底部のみ	8世紀後半
－39	GD－1	長頸壺	Ⅴ－4－1 砂レキB		3.1	5.2	肩部の張るやや長胴の器形？	良好	密(1.5㎜以下の石英・長石を含む)	外面：回転ヨコナデ 内面：回転ヨコナデ	表面：明灰色 断面：淡灰色	頸肩部 約1／2	8世紀
－40	GM－1	高杯	Ⅴ－1－2 砂レキ3	14.4	7.3	8.4	杯部は浅く、口縁端部を僅かにつまみ上げる	良好	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒・黄色粒を僅かに含む）	杯部：回転ヨコナデ 脚部：回転ヨコナデ 杯部内面：ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡青褐色	約3／4	8世紀後半
81図－1	FM－2	横瓶	Ⅴ－1－3 砂レキ3	12.3	5.3		口縁端部に面を持つ	良好堅緻	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面：同心円文オサエ	外面：淡灰色 内・断面：明灰色	口縁部1/4	6世紀後半 外面に自然釉付着
－2	FM－5	横瓶	Ⅴ－1－1 南砂レキ	10.8	3.2		口縁端部に面を持つ	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：平行タタキ 内面：同心円文オサエ	表面：淡青灰色 断面：淡紫褐色	口縁部1/5	6世紀後半
－3	FM－4	横瓶	Ⅴ－1－2 砂レキ3	12.0	4.2		口縁は短く外反する	良好	密(1.5㎜以下の石英・長石を含む)	口縁部：回転ヨコナデ 外面：平行タタキ後、回転カキメ 内面：同心円文オサエ	外・断面：淡紫褐色 内面：褐灰色	口縁部1/4	6世紀後半
－4	FM－1	横瓶	Ⅴ－4－1 砂レキB	12.8	6.7		口縁はやや長く外反し、面を持たない	良好堅緻	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：平行タタキ 内面：同心円文オサエ	外面：暗灰色 内面：濃灰色 断面：淡灰色	口縁部2/3	6世紀後半
－5	FK－2	大甕	Ⅴ－4－1 砂レキB	42.8	21.5		口縁下にはヘラ描き沈線によって区画された3条の文様帯に14条の櫛描き沈線を施す	良好	密（1㎜以下の石英・長石等を若干含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：4条/cmの平行タタキ 内面：同心円文オサエ	外面胴部：明褐灰色 内面胴部：淡紫褐色 口頸部：褐灰色	口頸部1/5	6世紀後半？
－6	FK－1	大甕	Ⅴ－1－2	43.8	21.7		口縁下にはヘラ描き沈線によって区画された2条の文様帯に7条の櫛描き沈線を各2周を施す	良好	密（3㎜以下の石英・長石を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 外面：平行タタキ 内面：同心円文オサエ	外面：暗灰色 内・断面：淡灰色	口頸部1/3	6世紀後半？
83図－1	GO－3	杯蓋	Ⅴ－4－3 砂レキA	15.6	3.0		口縁端部を僅かに摘み出す	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・黒色粒を若干含む）	天井部：回転ヘラケズリ 内面天井部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：褐灰色	1/3	8世紀末～9世紀初
－2	GO－5	杯蓋	Ⅴ－4－1 砂レキB	11.5	1.5		輪状つまみは3面とも面取りする	やや良好	やや粗（2㎜以下の石英・長石・黒色粒を含む）	天井部：回転ヘラケズリ 内面：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：明灰色 内・断面：淡灰色	天井部の中央のみ	8世紀末～9世紀初
－3	GO－2	杯蓋	Ⅴ－1－1 砂レキ2	17.4	2.2		口縁端部を僅かに摘み出す	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	回転ヨコナデ	表面：明灰色 断面：暗紫褐色	口縁部1/7	8世紀末～9世紀初
－4	GO－1	杯蓋	Ⅴ－1－1 砂レキ2	17.4	3.6		擬宝珠型つまみ 口縁端部を摘み出す	良好	やや粗（3㎜以下の石英・長石をやや多く含む）	天井部：回転ヘラケズリ 内面：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：明灰色 内面：褐灰色 断面：淡紫灰色	約1/3	8世紀末～9世紀初
－5	GV－9	高台付椀	Ⅴ－1－1 中細砂	12.4	5.7	7.7	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石を若干含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：暗褐灰色 断面：暗灰色	1/5残存	8世紀末～9世紀初
－6	GV－19	高台付椀	Ⅴ－1－2	13.3	5.6	7.4	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（千㎜程度の石英・長石・黒色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：灰色 口縁部：黒灰色	約2/3	9世紀
－7	GV－5	高台付椀	Ⅴ－1－2	13.8	6.4	7.2	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（1㎜以下の石英・長石を若干含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：褐灰色		9世紀 底部を硯に転用
－8	GV－8	高台付椀	Ⅴ－1－2 砂レキ2	16.2	6.2	8.3	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ	外面：暗青灰色 内面：褐灰色 断面：暗灰色	約1/9	9世紀
－9	GV－2	高台付椀	Ⅴ－1－2 砂レキ2	17.8	7.5	9.2	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（1㎜以下の石英・長石を若干含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：にぶい灰色 内面：褐灰色	3/5	8世紀末～9世紀初
－10	GV－4	高台付椀	Ⅴ－1－2 砂レキ2	14.7	6.7	7.6	底部から外傾して、直線的に立ち上がるが、口縁付近でやや外反する	良好	密（1㎜程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：暗灰色 内面：暗褐灰色 断面：褐灰色	約1/2	8世紀末～9世紀初

第116表・西川津遺跡Ⅴ区出土・須恵器観察表（7）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
83図－11	GV－3	高台付椀	Ⅴ－1－1 北砂レキ	16.4	5.9	8.8	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。高台は小型化している	普通	密（1㎜以下の石英・長石を若干含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：暗灰色 断面：淡青灰色	約1/5	8世紀末～9世紀初
－12	GV－1	高台付椀	Ⅴ－1－2 砂レキ3	19.0	8.4	8.8	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。体部外面の中程にタガ状の突帯を貼り付ける	良好	密（2㎜程度の石英・長石・黒色粒を若干含む	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：青灰色 内面：褐灰色 断面：淡褐灰色	底部は完存 上半部は1/3程度残存	9世紀
－13	GQ－1	鉄鉢模倣鉢	Ⅴ－1－2 砂レキ3	16.9	8.0		口縁は内彎する	良好	緻密（0.5㎜以下の石英・長石を若干含む）	体部：回転ヨコナデ 外面底部：回転ヘラケズリ	表面：暗灰色 断面：淡褐灰色	約1/8	8世紀末～9世紀初
－14	GQ－2	鉄鉢模倣鉢	Ⅴ－1－1 南砂レキ	18.9	6.3		口縁は内彎する	良好	やや粗（2㎜以下の石英・長石をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ	全面：暗青灰色 外面口縁部：淡褐灰色	口縁部の約1/6	8世紀末～9世紀初
－15	GP－1	把手付鉢	Ⅴ－1－2 砂レキ3	23.2	14.2	13.2	やや形骸化した把手を付ける	良好	密（1㎜以下の石英・長石を若干含む）	胴部：タタキ形成の後、粗いヨコナデによりタタキを消す 口縁部：回転ヨコナデ 胴部内面：不定方向ナデ	外面：暗青灰色 内面上半：濃灰色 内面下半：淡褐灰色 断面：淡灰色	2/3欠損	8世紀末～9世紀初
－16	GP－2	鉢	Ⅴ－1－2 暗灰砂	20.2	12.2	13.6	底部は平底	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部・口縁部：回転ヨコナデ	外面：淡褐灰色 内面：淡灰色 断面：淡灰色	約1/6	8世紀末～9世紀初
－17	GX－1	長頸壺	Ⅴ－1－1 西細砂		10.0	15.2	高台の端部には沈線を施す	良好	やや粗（1.5㎜以下の石英・長石を多く含む）	外面：回転ヨコナデ 内面：上部は回転ヨコナデ。底部には工具痕が残る	外面：黒灰色 内面：青灰色 断面：紫褐色	底部1/4	8世紀末～9世紀初
－18	GX－8	長頸壺？	Ⅴ－1－1 中細砂		10.8		長胴	良好	密（1㎜以下の石英・長石を若干含む）	内外面：回転ヨコナデ	表面：明灰色 断面：暗紫褐色	胴部1/5以下	8世紀末～9世紀初
－19	GR－17	杯身	Ⅴ－1－2 砂レキ2		0.8	6.5	底部中央に径5㎜の穿孔を行う	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	内面：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡褐灰色	底部のみ	紡錘車に転用
－20	GR－2	杯身	Ⅴ－1－2	12.8	4.4	7.6	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	普通	密（1㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外・断面：淡灰色 内面：淡茶褐色	口縁部の一部欠損	9世紀 「川上」墨書土器
－21	GR－13	杯身	Ⅴ－1－2	12.7	3.9	6.6	底部から外傾して、やや外反気味に立ち上がる	良好	緻密（0.5㎜以下の石英・長石等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡灰色 外面口縁部：暗灰色 内面：暗灰色	約1/4	9世紀 「×」墨書土器
－22	GR－16	杯身	Ⅴ－1－2		2.7	7.5	口縁部欠損	良好	緻密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡灰色	底部の約1/3	9世紀 「×」墨書土器
84図－1	GR－14	杯A	Ⅴ－1－2 砂レキ	11.5	3.6	7.9	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（1㎜程度の長石・黒色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：暗灰色	約1/6	9世紀前半
－2	GR－21	杯A	Ⅴ－1－2 砂レキ2	11.9	3.9	9.4	底部から外傾して、やや外反しながら立ち上がる	良好	密（1㎜程度の長石・黒色粒・赤色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡灰色 内面：褐灰色 断面：濃灰色	約1/4	9世紀前半
－3	GR－8	杯A	Ⅴ－1－1 砂レキ2	11.0	3.8	6.8	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	やや密（3㎜以下の石英・長石を少し含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：青灰色	約1/2	9世紀
－4	GR－10	杯A	Ⅴ－1－1 砂レキ2	10.8	3.3	6.6	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。やや浅い	良好	密（1㎜以下の石英・長石等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：青灰色	約1/3	9世紀
－5	GR－5	杯A	Ⅴ－1－2 暗灰粘	12.4	4.6	7.6	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。やや器壁が厚い	不良	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡灰色	約7/10	9世紀
－6	GR－6	杯A	Ⅴ－1－1 西細砂	12.4	5.0	7.8	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。端部はやや外反する	やや不良	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡灰色・黒灰色 内・断面：淡灰色	約2/3	9世紀
－7	GR－4	杯A	Ⅴ－1－2 砂レキ3	12.2	4.4	7.5	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。端部はやや外反する	普通	やや粗（1.5㎜以下の石英・長石・黒色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡灰色	ほぼ完形	9世紀
－8	GR－7	杯A	Ⅴ－1－1 砂レキ2	12.8	4.3	7.5	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。端部はやや外反する	やや不良	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒を僅か含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡灰色	約2/3 底部はほぼ残存	9世紀
－9	GR－35	杯A	Ⅴ－1－2 砂レキ3	13.5	3.9	8.2	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。やや浅い	普通	密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡褐灰色・黒灰色 内面：褐灰色	約1/8	9世紀
－10	GR－15	杯A	Ⅴ－1－1 砂レキ2	12.0	3.8	7.4	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。やや浅い	良好	普通（1.5㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡青灰色	約1/3	9世紀
－11	AR－9	杯A	Ⅴ－1－1 細砂	11.9	3.5	6.1	底部から大きく外傾して、直線的に立ち上がる。やや浅い	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：静止糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡褐灰色	約3/5	9世紀

第117表・西川津遺跡Ⅴ区出土・須恵器観察表（8）：古代～中世土師器観察表（1）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法(cm) 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
84図－12	GR－25	杯A	V－4－1 砂レキA	13.1	4.1	7.1	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。端部はやや外反する	普通	密（1㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡灰色	約1/5	9世紀
－13	GR－29	杯A	V－1－2 砂レキ2	12.2	4.5	6.2	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。端部はやや外反する	やや不良	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡灰色	約1/12	9世紀
－14	GR－32	杯A	V－1－1	11.7	4.2	6.4	底部から外傾して、直線的に立ち上がる。底部端が丸い	やや不良	密（1㎜以下の長石・黒色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：明灰色・褐灰色	約1/4	9世紀
－15	GR－1	杯A	V－1－1 南砂レキ	12.2	4.3	6.2	底部から外傾して、僅かに外反しながら立ち上がる	やや不良	密（1㎜以下の長石・黒色粒・赤色粒をごく僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡褐灰色	約1/2	9世紀
－16	GR－3	杯A	V－1－2 砂レキ2	13.0	4.2	7.4	底部から外傾して、僅かに外反しながら立ち上がる。底部端が丸い	普通	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡褐灰色	約3/10	9世紀
－17	GR－33	杯A	V－4－1 砂レキA	12.5	4.5	7.4	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	普通	やや粗（3㎜以下の石英・長石・黒色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡灰褐色 内・断面：褐灰色	約1/4	9世紀
－18	GR－12	杯A	V－4－1 砂レキA	12.1	4.4	5.9	底部から外傾して、直線的に立ち上がる	良好	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡褐灰色 内面：黒褐色 断面：明灰色	約9/10	9世紀末～10世紀
－19	GU－1	杯B	V－4－3	10.3	3.3	7.7	やや内彎気味に立ち上がる。底の高台は断面三角形を呈す	良好	密（2㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：糸切り後、ナデ？ 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：黒灰色 断面：暗紫褐色	約1/2	9世紀～10世紀
－20	GW－1	Ⅲ A	V－1－1 砂レキ2	13.1	1.8	9.2	口縁端部は僅かに外反する	やや不良	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：糸切り後、ナデ？	口縁外面：黒灰色 全面：淡灰色	約1/5	9世紀
－21	GZ－1	灰釉陶器 段Ⅲ	V－4－1 砂レキB	18.4	3.1	10.1	Ⅲ部は内彎し、上方に屈曲した後再び大きく外反する。高台端部は内傾する平坦面を持ち、三日月高台ではない。上面灰釉	良好堅緻	緻密（0.5㎜以下の長石・黒色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ	外・断面：明灰色 内面：淡緑灰色	約1/4	平安京Ⅱ期古 (840～870) 黒笹14号窯式
－22	GY－1	甕	V－4－3 砂レキA		11.1			良好堅緻	密（1㎜以下の長石等を僅かに含む）	外面：平行タタキ 内面：放射状文当て具痕	全面：濃灰色	胴部の一部	9世紀～10世紀
－23	HA－1	Ⅲ	V－1－1 南砂レキ	15.6	1.9	7.8	底部から大きく開いて、端部付近で外傾する。扁平な器形	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：暗青灰色 内面：暗灰色	約3/10	9世紀末～10世紀
－24	HA－3	Ⅲ	V－1－1 砂レキ2	15.5	2.3	8.4	底部から大きく開いて、端部付近で外傾する。扁平な器形	良好	やや粗（1㎜程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	外面：淡灰色 内面：淡褐灰色	約1/4	9世紀末～10世紀
－25	HA－5	Ⅲ	V－1－1 砂レキ2	14.4	2.5	7.4	底部から大きく開いて、端部付近で外傾する。扁平な器形	普通	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：暗灰色 断面：淡灰色	約1/5	9世紀末～10世紀
－26	HA－9	Ⅲ A	V－4－1 砂レキA	14.0	2.1	8.9	口縁端部は僅かに外反する	良好	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	表面：淡灰色・黒灰色 断面：淡灰色	約1/4	9世紀末～10世紀
－27	HA－6	Ⅲ A	V－1－1 砂レキ	10.8	2.2	5.4	口縁端部は僅かに外反する	普通	密（1㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：糸切り？	全面：淡灰色・黒灰色	約1/10	9世紀末～10世紀
－28	HA－2	Ⅲ A	V－1－2 砂レキ2	13.4	1.5	10.2	口縁端部は僅かに内彎する	やや不良	密（1㎜以下の石英・長石・黒色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部外面：調整不明	外面：暗灰色 内・断面：淡灰色	約1/4	9世紀末～10世紀
－29	HA－4	Ⅲ A	V－1－1 西細砂	11.4	1.3	7.6	口縁端部は僅かに外反する	普通	密（1㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り 内面底部：回転ヨコナデ後、不定方向ナデ	全面：淡青灰色	約3/10	9世紀末～10世紀
－30	TAE－1	大甕	V－4－3 砂レキY		13.8			良好堅緻	密（1㎜以下の長石を僅かに含む）	外面：格子状タタキ 内面：同心円文オサエ後、ハケ原体によるヨコナデ	外面：濃灰色 内・断面：淡褐灰色	胴部破片のみ	10世紀 亀山・勝間田系
85図－1	JAA－1	Ⅲ 土師器	V－4－1 砂レキB 砂レキB	15.6	3.8	10.8	口縁は緩やかに外反する 内外面に赤彩	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	表面：橙褐色 断面：淡褐色～淡赤 断面：淡褐色	約1/4	8世紀末～9世紀初
－2	JAB－1	杯 土師器	V－1－1 砂レキ2	14.0	3.3	9.4	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。内面赤彩	普通	密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ	外面：淡褐色 内面：暗赤褐色	口縁部 約1/10	8世紀末～9世紀初
－3	JAC－1	椀 土師器	V－4－1 砂レキA	12.6	4.4	6.3	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	良好	密（1.5㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡褐色	完形	9世紀後半
－4	JAC－2	椀 土師器	V－4－1	12.8	4.5	7.0	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	良好	密（1㎜以下の石英・長石等を含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡灰褐色 内面：淡褐色 断面：濁橙褐色	ほぼ完形	9世紀後半

第118表・西川津遺跡Ⅴ区出土・古代～中世土師器観察表（２）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
85図－５	JAC－３	杯AⅡ	Ⅴ－４－１ 暗灰粗砂	12.2	3.9	6.7	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石等を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：暗褐灰色 断面：暗茶褐色	約1/3	9世紀後半
－６	JAC－４	杯AⅡ	Ⅴ－４－１ 砂レキA	12.9	4.8	6.5	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	良好	密（１㎜以下の石英・長石・金雲母等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡灰褐色	約3/5	9世紀後半
－７	JAC－６	椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ2	12.4	4.7	6.2	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	普通	やや粗（１㎜程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	口縁部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡灰褐色 内面：淡褐色 断面：褐灰色～茶褐色	約1/2	9世紀後半
－８	JAD－１	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	12.4	4.4	5.8	口縁が僅かに外反気味となる	良好	密（１㎜以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡灰褐色 内面：淡茶褐色	完形	9世紀後半
－９	JAD－２	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	12.5	4.8	5.7	口縁が僅かに外反気味となる	良好	密（１㎜以下の石英・長石・赤色粒等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡黄灰褐色 内面：淡灰褐色	完形	9世紀後半
－10	JAD－３	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	12.6	4.6	6.3	口縁が僅かに外反気味となる	良好	密（１㎜以下の石英・長石等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡褐色	完形	9世紀後半
－11	JAD－４	椀	Ⅴ－４－１ 暗灰シルト	12.8	4.7	6.1	口縁が僅かに外反気味となる	良好	密（２㎜以下の石英・長石・金雲母等を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡褐色	ほぼ完形	9世紀後半
－12	JAD－７	椀	Ⅴ－１－１ 南砂レキ	14.6	5.1	7.3	口縁が僅かに外反気味となる	良好	密（１㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡灰褐色 内・断面：淡褐色	約1/3	9世紀後半
－13	JAE－１	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	11.8	3.6	7.2	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。やや浅い	普通	密(0.5㎜以下の石英・長石を含む)	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡褐灰色 内・断面：淡褐色	約1/3	9世紀後半
－14	JAE－２	椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ2	12.1	3.8	5.4	口縁は底部から外傾し、やや内彎気味に立ち上がる。やや浅い	やや不良	やや粗（１㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	外面：暗桃褐色 内面：淡茶褐色 断面：淡灰褐色	約1/6	9世紀後半
－15	JAG－１	椀	Ⅴ－４－３ 砂レキA	12.5	4.6	6.6	口縁は底部から外傾し、全体に緩やかに外反する	普通	普通（1.5㎜以下の石英・長石・赤色粒等をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：にぶい褐色 内・断面：にぶい橙褐色	約４/5	9世紀後半
－16	JAG－２	椀	Ⅴ－１－１ 南細砂	11.4	4.3	6.6	口縁は底部から外傾し、全体に緩やかに外反する。底部端は丸い	良好	緻密（１㎜以下の長石・赤色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡褐色	約1/4	9世紀後半
－17	JAS－c－１	高台付椀	Ⅴ－１－２		3.2	8.9	高台は椀の外面と一体化している	普通	密（１㎜以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：ナデ	全面：淡褐色	底部のみ	9世紀
－18	JAR－h－１	高台付椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ2		1.6	8.2	高台端部は丸く、器壁は薄い杯部内面と高台外面には赤彩を施す	普通	緻密（0.5㎜以下の長石・赤色粒を僅かに含む）	体部：ヨコナデ 内面底部：ナデ 底部外面：回転ヨコナデ	外・断面：淡褐色 内面：暗橙褐色	高台部 約1/５	9世紀
－19	JAF－１	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	13.0	4.1	6.8	口縁は一端、内彎気味に外傾し、口縁端部で外反する	良好	緻密（0.5㎜以下の石英・長石・金雲母等を含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：板ナデ	全面：淡褐色	約1/3	9世紀後～10世紀前
－20	JAF－２	椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ2	13.6	3.7	7.2	口縁部は極めて緩やかに内彎する	良好	密（１㎜以下の長石・赤色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：指ナデ	外面：淡橙褐色・淡赤褐色 内面：淡黄褐色 断面：淡褐灰色	約1/6	9世紀後～10世紀前
－21	JAF－３	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA	12.8	4.1	7.2	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・金雲母等を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：指ナデ	外面：淡茶褐色 内・断面：淡褐色	約1/4	9世紀後～10世紀前
－22	JAF－４	椀	Ⅴ－１－１ 南砂レキ	13.0	3.8	8.1	口縁は底部から外傾し、直線的に立ち上がる。底部端は丸い	普通	普通（１㎜以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：指ナデ	全面：淡灰褐色	約1/3	9世紀後～10世紀前
－23	JAF－c－１	椀	Ⅴ－４－１ 砂レキA		2.1	7.6	器壁が薄い	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：ヨコナデ 底部外面：ヘラ切り	表面：淡灰褐色 断面：淡赤褐色	底部約1/2	9世紀後～10世紀前
－24	JAQ－１	椀	Ⅴ－４－３ 暗灰粘	14.0	2.7		口縁は大きく外傾する	やや良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：ヨコナデ	全面：にぶい淡褐色	杯部約1/4	10世紀
－25	JAR－１	高台付椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ２		3.3	8.6	底部に断面三角形の高台が付く	良好	やや粗（１㎜程度の石英・長石・黒色粒・金雲母をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 外面底部：調整不明	外面：淡褐色 内面：淡赤褐色 断面：淡褐灰色	底部ほぼ完形	10世紀
－26	JAT－１	高台付椀	Ⅴ－１－１ 砂レキ2	16.6	5.3	9.2	底部に断面三角形の小さな高台が付き、口縁端部は僅かに外反	普通	密（1.5㎜以下の石英・長石・赤色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ	全面：橙褐色	約1/6	10世紀
－27	JAT－２	椀	Ⅴ－１－１ 東砂レキ	14.4	5.1	6.2	底部は僅かに上げ底となり、口縁部は僅かに内彎する	やや不良	やや粗（１㎜程度の石英・長石・黒色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：調整不明	全面：淡茶褐色	約1/５	10世紀
－28	JAK－１	皿	Ⅴ－１－２ 暗灰砂	13.6	2.9	7.2	口縁部は緩やかに外反する	良好	やや粗（１㎜程度の石英・長石・黒色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：静止糸切り	外面：暗灰色 内面：暗褐灰色 断面：淡褐灰色	約1/6	10世紀

第119表・西川津遺跡Ⅴ区出土・古代～中世土師器観察表（3）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法(cm) 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
85図－29	JAP－1	皿	V－4－3 砂レキA	11.8	3.2	6.6	口縁部は僅かに内彎しながら立ち上がり、底部端は丸い	やや良好	緻密（0.5mm以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：ヨコナデ 底部：ヘラ切り後、ナデ	表面：淡橙褐色 断面：淡赤褐色	約1/4	10世紀
－30	JAU－g－1	黒色土器椀	V－1－1 砂レキ2		2.8	7.8	高台は断面三角形状で高い	良好	密（0.5mm以下の石英・長石・黒色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 杯部内面：放射状のヘラミガキ 底部外面：回転糸切り	外・断面：淡褐色 内面：黒褐色	底部完形	10世紀後～11世紀
－31	JAH－g－1	黒色土器椀	V－4－3 砂レキB	16.4	3.9		口縁はやや内彎気味である	普通	やや粗（1.5mm以下の石英・長石・赤色粒をやや多く含む）	口縁部：ヨコナデ	外面：黒褐色 内・断面：淡褐色	口縁部約1/8	10世紀後～11世紀
－32	JAV－h－1	高台付椀	V－4－3 砂レキA		2.2	8.8	高台は高く、端部には内傾する凹面を持つ	やや良好	密（1mm以下の石英・長石・赤色粒を僅かに含む）	高台部：ヨコナデ	全面：淡褐色	高台部約1/3	11世紀
－33	JAV－1	高台付椀	V－1－1 砂レキ2		4.7	7.9	高台は高く、外側に踏ん張る	良好	密（1mm以下の石英・長石・赤色粒・黒色粒を僅かに含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡橙褐色 断面：淡褐灰色	底部完形	11世紀
－34	JAV－2	高台付椀	V－4－3 砂レキB		3.7	8.5	高台は高く、器壁も大変薄い	やや良好	密（1mm以下の石英・長石・赤色粒を含む）	全面：ヨコナデ	表面：淡明橙褐色 断面：淡褐色	高台部完形	11世紀
－35	JAH－1	椀	V－1－1 南砂レキ	14.7	4.4	6.6	口縁は底部から外傾し、僅かに内彎しながら伸びる、底部端は丸い	普通	密（砂粒はほとんど含まない）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外面：淡茶褐色 内面：黒茶褐色 断面：淡褐色	約2/3	12世紀～13世紀
－36	JAH－2	椀	V－1－1 東細砂	15.2	5.0	5.7	口縁は底部から外傾し、僅かに内彎しながら伸びる。口縁端部では外反する	普通	密（1mm以下の石英・長石・黒色粒・赤色粒・褐色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡黄褐色	約1/3	12世紀～13世紀
－37	JAI－f－1	柱状高台	V－4－3 砂レキZ		1.8	5.6	底部は中実	やや不良	やや密（0.5mm以下の石英・長石・赤色粒を含む）	外面：回転ヨコナデ 内面回転ヨコナデ後、不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡褐色 断面：黒褐色	底部完形	12世紀～13世紀
－38	JAI－e－1	柱状高台	V－1－1 南砂レキ		3.1	9.8	底部は中実	やや不良	やや粗（1mm程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒をやや多く含む）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	表面：淡茶褐色 断面：淡橙褐色 底面：灰褐色	底部完形	12世紀～13世紀
－39	JAO－2	皿	V－1－1 南砂レキ	9.3	1.9	4.8	底部は中実	やや良好	緻密（砂粒をほとんど含まない）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	外・断面：淡褐色 内面：灰褐色	約1/5	12世紀～13世紀
－40	JAO－1	皿	V－2－2 SR01	6.6	1.4	2.6	小型で扁平な個体	良好	やや粗（1.5mm程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：淡橙褐色	約1/4	
－41	JAM－1	皿	V－1－1 砂レキ2	9.3	2.3	3.6	口縁は底部から外傾し、僅かに外反しながら伸びる	良好	やや粗（1mm程度の石英・長石・黒色粒・赤色粒を多く含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：調整不明	外面：淡黄褐色 内面：暗褐灰色 断面：赤褐色	約1/2	
－42	JANN－1	皿	V－2－2 SR01	8.0	1.9	3.7	小型で扁平な個体	良好	やや粗（1mm以下の石英・長石を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	全面：明橙褐色	約4/5	近代
－43	JAM－2	皿	V－4－3 砂レキA	8.8	2.4	3.7	口縁は底部から外傾し、僅かに内彎しながら伸びる。口縁端部では外反する	普通	密（0.5mm以下の石英・長石・赤色粒を含む）	体部：回転ヨコナデ 底部外面：回転糸切り	表面：明褐色 断面：淡褐色	約4/5	12世紀～13世紀
－44	JA－b－1	灯明皿	V－1－1 南砂レキ	11.4	2.4		底部の形状は不明	やや良好	緻密（0.5mm以下の石英・長石を微量含む）	口縁部：ヨコナデ	表面：暗茶褐色 断面：淡褐色	約1/6	12世紀～13世紀
－45	JAL－1	皿	V－2－2 SR01	9.0	1.8	4.6	口縁は底部から外傾し、僅かに内彎しながら伸びる	やや不良	密（砂粒はほとんど含まない）	体部：回転ヨコナデ 内面底部：不定方向ナデ 底部外面：回転糸切り	全面：褐灰色	約1/2	15世紀～16世紀
－46	JAJ－1	皿	V－2－2 SR01	12.6	1.7	5.8	底部は指ナデで、上げ底となる「へそ皿」。口縁部は外反する	普通	密（1mm以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 底部外面：ナデ	外面：淡灰褐色 内面：淡橙褐色	約1/6	16世紀 京都系

第120表・西川津遺跡Ⅴ区出土・中近世陶磁器観察表（1）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法(cm) 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
86図－1	TAI－1	備前 小型壺	V－4－3 SR01	7.1	5.2		口縁端部は僅かに玉縁状を呈す	良好堅緻	普通（1.5mm以下の長石・石英・黒色粒を含む）	全面：回転ヨコナデ	外面：暗茶褐色 内面：暗紫褐色 断面：紫褐色	上半部1/6	16世紀 備前焼Ⅴ・Ⅵ期
－2	TAH－1	備前・大甕	V－4－3 SR01 砂レキZ		6.3		口縁端部は外側に折り返して、玉縁状とする	良好堅緻	普通（5mm以下の赤色粒・長石・石英等を含む）	全面：回転ヨコナデ	表面：暗紫褐色 断面：淡灰褐色～暗紫褐色	口縁端部の一部	16世紀 備前焼Ⅴ・Ⅵ期
－3	TAH－6	備前・大甕	V－4－3 砂レキZ		7.1	30.5	平底の底部	良好堅緻	普通（2mm以下の長石・石英等を含む）	全面：ナデ	外面：暗赤褐色 内面：暗紫褐色 断面：黒褐色～暗赤褐色	底部の一部	16世紀 備前焼Ⅴ・Ⅵ期
－4	TAG－1	備前・擂鉢	V－1－1 南砂レキ		4.2		摺目の間隔が離れている	良好	密（1mm以下の石英・長石を含む）	外面：ヨコナデ 内面：6条以上の摺目を入れる	表面：暗灰色 断面：淡褐灰色	底部の一部	14世紀 備前焼Ⅳ期

第121表・西川津遺跡Ⅴ区出土・中近世陶磁器観察表（２）

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 口径	器高	底径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
86図－５	TAA－1	青花・皿	Ⅴ－4－3 SR01 砂レキZ		2.0	3.4	内面見込み中央には花弁文を配し、周辺に唐草文を描く。外面は鋸歯文を配す	良好堅緻	緻密	釉薬はやや青灰色を呈し、彩色部分はにぶい暗青褐色。胎土は白色である。表面は二次焼成を受ける		底部のみ	16世紀第３四半期 上田A－Ⅰ類皿CⅠ
－６	TAD－1	唐津・皿	Ⅴ－2－2 SR01	12.2	4.2	3.2	高台付近は無釉 胎土目	良好	密（１㎜以下の長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 底部：削り出し高台	施釉部分：外面は灰褐色 内面は茶褐色 無釉部分：淡橙褐色	約1/4	17世紀初頭
－７	TAC－1	美濃・酒杯	Ⅴ－4－3 SR01 砂レキZ	5.7	2.4	2.2	高台付近は無釉	良好	密（0.5㎜以下の石英・長石を僅かに含む）	口縁部：回転ヨコナデ 底部：削り出し高台	施釉部分：淡黄緑褐色 無釉部分：淡灰白色 内面は茶褐色	ほぼ完形	17世紀初頭 （唐津の可能性もあり）

第122表・西川津遺跡Ⅴ区出土・土錘観察表

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm） 全長	幅	孔径	形態文様の特徴	焼成	胎土	調整	色調	残存度	備考
86図－８	KAB－1	紡錘形土錘	Ⅴ－4－3 SR01	4.8	1.9 2.0	0.4	紡錘形で孔が細い	やや良好	密（0.5㎜以下の石英・長石・赤色粒を僅かに含む）	全面：ナデ	表面：淡灰褐色	ほぼ完形	
－９	KAA－1	球状土錘	Ⅴ－1－2 砂レキ3	3.8	3.5	0.9	球状で孔がやや大きい	普通	やや粗（２㎜以下の長石・石英等をやや多く含む）	全面：ナデ	表面：淡灰褐色	ほぼ完形	
－10	KAD－1	紡錘形土錘	Ⅴ－1－1 砂レキ２	9.3	4.4	1.5	紡錘形で孔が大きい	やや良好	やや粗（２㎜以下の長石・石英・黒色粒等をやや多く含む）	全面：ナデ	表面：暗褐色	完形	

第123表・西川津遺跡Ⅴ区出土・青銅滓、羽口観察表

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm・g） 全長	幅	重量	概要	残存度	備考
86図－11	羽－1	鞴羽口	Ⅴ－1－2 粗砂	3.8			小口径の青銅系羽口先であるが、外径も小さく肉厚も薄い。 使用角度は緩いマイナス角である 胎土は籾ガラが入る粘質土である	先端の1/4	青銅溶解炉
－12	羽－2	炉壁 （羽口基部）	Ⅴ－4－3 砂レキX	4.8	4.4	49.73	羽口が炉内に露出する基部面にあたり、炉の熱をうける。 炉壁とそれに付着する滓部分に分かれるが、炉壁の胎土には籾ガラのほか長石を含む 炉壁部分は赤褐色、滓はガラス化して黒褐色、滓に付着する錆は赤紫褐色を呈す		青銅溶解炉

第124表・西川津遺跡Ⅴ区出土・鉄斧観察表

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm・g） 全長	幅	重量	概要	残存度	備考
86図－18		袋状鍛造 鉄斧	Ⅴ－1－1 暗灰砂	7.7	刃部 推定 3.5	52.51	刃基部は約１㎝の厚みがあるが、袋部は２㎜程度の厚みしかなく、両者の境界には６㎜ほどの段差が存在する。	袋部端は欠損	

第125表・西川津遺跡Ⅴ区出土・金属製武器観察表

挿図番号	分類番号	器種	層位	寸法（cm・g） 全長	幅	重量	概要	残存度	備考
86図－17		無茎銅鏃	Ⅴ－4－2 砂レキF	2.68	1.745	1.85	無茎凹基式の銅鏃で、厚さは0.17㎜で有ある	ほぼ完形	４世紀以前
86図－19		短刀	Ⅴ－1－1 南西 砂レキ	31.2	刃部 0.215	110.3	平安時代から戦国期の鉄尺による一尺(31.6㎝)を指標として製作された短刀であろう。造込みは平作りの直刀であり、鎬は認められない。棟の形は稜を持つ庵棟であり、茎尻の形は栗尻である。鐔金具は刀身の断面形に合わせた五角形で、上端は関に接している。X線撮影の結果では、両関になることが確認されている。刃部長21.7㎝、刃部厚さ0.645㎝、茎長9.5㎝、茎幅1.82㎝、茎厚さ0.665㎝、目釘孔0.61～0.395㎝。白木の柄が残存しているが、変形劣化が激しく図下困難。	刃部は刃こぼれするがほぼ完存	12～13世紀？

第126表・西川津遺跡Ⅴ区出土・銭貨観察表

挿図番号	分類番号	銭種	層位	寸法（cm・g） 重量	厚さ	長径×短径	方孔径	初鋳年		残存度	備考
86図－13		寛永通宝	Ⅴ－2－1	3.04	0.130	2.495×2.450	0.585×0.610	1636		完形	「ス宝」銭
－14		寛永通宝	Ⅴ－2－2 SR01	3.37	0.110	2.545×2.530	0.590×0.575	1697		完形	「ハ宝」銭
－15		寛永通宝	Ⅴ－2－2 SR01	1.40	0.110		0.655×0.650	1697		端部は若干欠損	「ハ宝」銭
－16		寛永通宝	Ⅴ－2－1	3.07	0.125	2.510×2.505	0.560×0.560	1668		完形	文銭

第127表・西川津遺跡Ⅴ区出土・石器観察表（1）

旧石器観察表（黒曜石以外の材質・可能性のあるものを含む）

（　）は残存長を示す

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
87図－4	旧－1	ナイフ型石器	Ⅴ－1－3	砂レキC	29.80	7.5×3.7×0.9	安山岩？	
87図－3	旧－2	スクレイパー	Ⅴ－4－3	砂レキX	15.34	4.5×3.5×1.15	玉髄	
87図－1	旧－3	台形様石器	Ⅴ－4－1	砂レキB	21.39	4.215×3.91×1.13	瑪瑙	
非掲載	旧－4	台形様石器	Ⅴ－4－1	砂レキB	26.40	5.25×4.65×1.23	玉髄	
非掲載	旧－5	刃器	Ⅴ－1－1		25.91	4.95×2.6×2.15	玉髄	
非掲載	旧－6	楔形石器	Ⅴ－1－1	砂レキ	5.83	3.22×1.77×0.895	玉髄	

黒曜石製楔形石器観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
87図－7	楔－1	楔形石器	Ⅴ－4－1	砂レキD	9.06	3.5×2.3×1.3	黒曜石	
87図－8	楔－2	楔形石器	Ⅴ－4－2	砂レキF	16.86	4.2×2.8×1.5	黒曜石	
非掲載	楔－3	楔形石器	Ⅴ－4－2	砂レキF	3.48	2.3×1.8×0.875	黒曜石	
非掲載	楔－4	楔形石器	Ⅴ－4－2	砂レキF	2.56	1.95×1.85×0.885	黒曜石	
非掲載	楔－5	楔形石器	Ⅴ－4－2	砂レキG	3.24	2.95×2.02×0.575	黒曜石	
非掲載	楔－6	楔形石器	Ⅴ－4－2	砂レキF	3.47	2.5×1.75×0.6	黒曜石	

黒曜石製スクレイパー観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
87図－6	ス－1	スクレイパー	Ⅴ－1－3	砂レキD	60.67	10.7×4.5×2.1	黒曜石	
87図－5	ス－2	スクレイパー	Ⅴ－1－1	砂レキ	21.04	6.5×3.3×1.0	黒曜石	
非掲載	ス－3	スクレイパー	Ⅴ－4－3	砂レキA	36.20	5.8×4.6×1.66	黒曜石	
非掲載	ス－4	スクレイパー	Ⅴ－4－2	砂レキF	54.14	6.3×5.88×1.433	黒曜石	
非掲載	ス－5	スクレイパー	Ⅴ－4－2	砂レキF	11.11	5.25×2.48×0.735	黒曜石	
非掲載	ス－6	スクレイパー	Ⅴ－4－2	砂レキE	20.15	6.0×4.62×0.85	黒曜石	
非掲載	ス－7	スクレイパー	Ⅴ－4－1	砂レキB	40.70	5.8×5.59×1.885	黒曜石	
非掲載	ス－8	スクレイパー	Ⅴ－4－1	砂レキD	23.49	4.33×3.7×1.12	黒曜石	
非掲載	ス－9	スクレイパー	Ⅴ－1－1	砂レキ2	4.54	3.3×1.99×0.68	黒曜石	
非掲載	ス－10	スクレイパー	Ⅴ－1－2	砂レキ3	2.44	2.55×1.76×0.48	黒曜石	
88図－15	ス－11	スクレイパー	Ⅴ－1－1	砂レキ	5.65	3.0×2.9×0.65	黒曜石	
非掲載	ス－12	スクレイパー	Ⅴ－4－1	砂レキD	24.44	4.29×4.53×1.625	黒曜石	
非掲載	ス－13	スクレイパー	Ⅴ－1－2	暗灰粗砂	22.78	4.48×3.24×1.615	黒曜石	
非掲載	ス－14	スクレイパー	Ⅴ－4－1	砂レキA	7.99	3.3×3.13×0.765	黒曜石	
非掲載	ス－15	スクレイパー	Ⅴ－4－1	砂レキE	7.23	3.3×2.67×1.03	黒曜石	
非掲載	ス－16	スクレイパー	Ⅴ－1－1	西レキ2	2.09	2.38×1.55×0.765	黒曜石	
88図－17	ス－17	スクレイパー	Ⅴ－4－2	砂レキF	3.38	2.1×2.3×0.8	黒曜石	
非掲載	ス－18	スクレイパー	Ⅴ－4－2	砂レキF	2.10	2.46×1.93×0.365	黒曜石	
非掲載	ス－19	スクレイパー	Ⅴ－4－3		13.49	4.0×3.2×1.045	黒曜石	
88図－16	ス－20	スクレイパー	Ⅴ－4－2		14.25	3.1×3.7×1.5	黒曜石	
非掲載	ス－21	スクレイパー	Ⅴ－1－3	砂レキE	6.98	3.72×2.32×0.785	黒曜石	
非掲載	ス－22	スクレイパー	Ⅴ－1－3	砂レキE	4.83	2.6×2.33×0.7	黒曜石	
非掲載	ス－23	スクレイパー	Ⅴ－1－1	南砂レキ	2.45	2.25×2.2×0.51	黒曜石	

黒曜石２次加工剥片観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
非掲載	二－1	二次加工剥片	Ⅴ－1－3	砂レキD	130.51	11.15×7.02×1.905	黒曜石	
88図－14	二－2	二次加工剥片	Ⅴ－4－3	SR01	12.48	3.6×3.5×1.1	黒曜石	
非掲載	二－3	二次加工剥片	Ⅴ－4－1	砂レキB	12.03	3.93×2.73×1.280	黒曜石	
非掲載	二－4	二次加工剥片	Ⅴ－4－2	砂レキF	13.20	3.0×3.19×0.915	黒曜石	
非掲載	二－5	二次加工剥片	Ⅴ－4－2	砂レキJ	5.86	3.82×2.18×1.015	黒曜石	
非掲載	二－6	二次加工剥片	Ⅴ－4－1	砂レキE	9.52	3.62×3.1×0.94	黒曜石	
非掲載	二－7	二次加工剥片	Ⅴ－4－1	砂レキD	22.57	5.0×4.43×1.765	黒曜石	
非掲載	二－8	二次加工剥片	Ⅴ－4－2	砂レキF	9.61	4.0×2.19×1.3	黒曜石	
非掲載	二－9	二次加工剥片	Ⅴ－4－1	砂レキE	12.62	3.72×3.3×1.235	黒曜石	

黒曜石　石核観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
非掲載	核－1	石核	Ⅴ－4－1	砂レキD	77.8	5.2×4.4×3.775	黒曜石	
87図－2	核－2	石核	Ⅴ－1－2	粘土混レキ	37.49	3.9×2.9×3.4	黒曜石	
非掲載	核－3	石核	Ⅴ－4－1		99.95	5.78×5.02×2.880	黒曜石	
非掲載	核－4	石核	Ⅴ－4－1	砂レキD	19.50	2.88×2.67×2.495	黒曜石	
非掲載	核－5	石核	Ⅴ－4－2	砂レキE	31.85	4.73×5.1×2.105	黒曜石	
非掲載	核－6	石核	Ⅴ－4－1		48.49	4.55×4.08×2.240	黒曜石	
非掲載	核－7	石核	Ⅴ－4－2	砂レキJ	15.60	3.52×2.80×1.440	黒曜石	
非掲載	核－8	石核	Ⅴ－4－2	砂レキF	24.67	3.94×3.48×2.27	黒曜石	
非掲載	核－9	石核	Ⅴ－4－1	砂レキB	16.67	3.98×3.09×1.390	黒曜石	
非掲載	核－10	石核	Ⅴ－4－2	砂レキF	8.81	2.95×1.83×1.490	黒曜石	

磨石・凹石観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
89図－2	1	磨石	Ⅴ－1－2	地山上	1470.17	11.6×10.8×8.2	ディサイト≒石英安山岩	
21図－1	2	六面凹石	Ⅴ－4－2	SX01中	940.83	13.4×8.4×5.8	ディサイト	
89図－1	3	二面凹石	Ⅴ－1－2	砂レキ3	382.29	8.8×7.2×3.65	玄武岩	
非掲載	4	磨石	Ⅴ－4－1	砂レキE	346.41	8.8×7.2×3.635	貫入岩	
非掲載	5	磨石	Ⅴ－1－2	暗灰粗砂	264.16	7.7×6.3	火山礫凝灰岩	

黒曜石製石鏃　観察表（1）

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
88図－12	A－1	石鏃	Ⅴ－4－3	砂レキA	6.03	4.0×2.8×0.80	黒曜石	凹基式。未製品
88図－11	A－2	石鏃	Ⅴ－1－3	砂レキD	3.54	3.1×1.9×0.66	黒曜石	略五角形。完形
非掲載	A－3	石鏃	Ⅴ－4－2	砂レキF	3.18	2.8×1.9×0.615	黒曜石	未製品
非掲載	A－4	石鏃	Ⅴ－1－2	砂レキ2	2.55	(2.49)×(2.26)×0.64	黒曜石	未製品
88図－10	A－5	石鏃	Ⅴ－1－3	砂レキD	2.35	2.1×2.2×0.75	黒曜石	平面正三角形・平基式
非掲載	A－6	石鏃	Ⅴ－4－3	SR01	2.25	2.3×1.9×0.705	黒曜石	平基式
88図－8	A－7	石鏃	Ⅴ－4－3	砂レキX	2.09	2.5×1.8×0.61	黒曜石	凹基式。ほぼ完形

第128表・西川津遺跡Ⅴ区出土・石器観察表（２）

黒曜石製石鏃　観察表（２）

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
88図－５	A－８	石鏃	Ⅴ－１－１	砂レキ2	1.97	(2.8)×(1.8)×0.56	黒曜石	凹基式。ほぼ完形
88図－６	A－９	石鏃	Ⅴ－４－３	砂レキY	1.58	(2.6)×(1.7)×0.425	黒曜石	凹基式
非掲載	A－10	石鏃	Ⅴ－４－１	砂レキD	1.57	1.98×1.44×0.46	黒曜石	未製品
非掲載	A－11	石鏃	Ⅴ－４－３	砂レキA	1.56	1.72×1.7×0.625	黒曜石	正三角形
非掲載	A－12	石鏃	Ⅴ－１－１	細砂	1.51	2.32×1.72×0.495	黒曜石	凹基式
非掲載	A－13	石鏃	Ⅴ－１－１	砂レキ2	1.41	(2.1)×2.03×0.415	黒曜石	平基式
88図－９	A－14	石鏃	Ⅴ－１－２	砂レキ3	1.39	(1.8)×1.8×0.345	黒曜石	平基式。先端欠損
88図－７	A－15	石鏃	Ⅴ－１－２	砂レキ2	1.33	(2.1)×2.2×0.45	黒曜石	凹基式。先端欠損
88図－３	A－16	石鏃	Ⅴ－４－３	砂レキY	0.91	(2.0)×(1.5)×0.435	黒曜石	凹基式。ほぼ完形
88図－４	A－17	石鏃	Ⅴ－４－２	砂レキF	0.80	2.1×2.0×0.38	黒曜石	凹基式。完形
非掲載	A－18	石鏃	Ⅴ－１－３	砂レキC	0.64	(2.35)×(1.12)×0.43	黒曜石	凹基式。側面1/2残存
非掲載	A－19	石鏃	Ⅴ－４－１	砂レキB	0.64	(1.4)×1.5×0.385	黒曜石	先端欠損。凹基
88図－２	A－20	石鏃	Ⅴ－４－２	砂レキF	0.51	1.6×1.2×0.29	黒曜石	凹基式。ほぼ完形
非掲載	A－21	石鏃	Ⅴ－４－３	砂レキY	0.49	(1.35)×(1.18)×0.32	黒曜石	未製品
88図－１	A－22	石鏃	Ⅴ－４－３	砂レキY	0.15	1.7×(1.1)×0.155	黒曜石	凹基式。一部欠損
88図－13	A－23	石鏃	Ⅴ－１－２	地山上	6.26	3.5×1.9×1.0	黒曜石	未製品

磨製石包丁観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
95図－７	1	磨製石包丁	Ⅴ－４－２	砂レキF	32.21	(9.8)×(6.4)×0.3	頁岩	刃部なし。穿孔あり
95図－３	2	磨製石包丁	Ⅴ－４－３	砂レキY	18.43	(6.7)×(4.9)×0.45	頁岩	刃部研磨。穿孔あり
95図－１	3	磨製石包丁	Ⅴ－１－２	砂レキ3	36.27	(5.7)×5.25×0.6	珪質頁岩	刃部研磨。２カ所穿孔
95図－４	4	磨製石包丁	Ⅴ－４－１	砂レキD	35.41	(8.4)×3.5×0.7	頁岩	刃部なし。穿孔あり
95図－２	5	磨製石包丁	Ⅴ－１－３	砂レキC	12.22	(5.195)×(4.48)×0.345	頁岩	刃部研磨。２カ所穿孔
95図－６	6	磨製石包丁	Ⅴ－４－１	砂レキB	76.90	(7.3)×(6.2)×1.0	頁岩	刃部なし。穿孔あり
96図－９	7	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－１－２	暗灰粗砂	108.25	(10.25)×5.4×2.07	流紋岩	刃部研磨
96図－２	8	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－３	砂レキY	49.37	(7.2)×5.0×7.85	頁岩	刃部研磨
98図－７	9	未製品	Ⅴ－４－２	砂レキF	42.14	7.52×4.165×1.18	頁岩	研磨痕。擦り切り痕あり
96図－１	10	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	砂レキA	79.55	(7.3)×(6.4)×1.9	頁岩	刃部研磨
非掲載	11	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	砂レキD	25.68	7.4×4.6×6.5	流紋岩	刃部研磨
95図－９	12	磨製扁平石器	Ⅴ－４－１	砂レキD	41.14	(7.5)×(6.7)×0.7	玄武岩	両面研磨
96図－３	13	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－１－３	砂レキC	12.15	(4.9)×(3.43)×0.45	頁岩　(ﾎﾙﾝﾌｪﾙｽ化)	刃部は丁寧に研磨
96図－８	14	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－１－２	暗灰砂	108.13	(9.975)×(7.475)×1.33	流紋岩	刃部研磨
96図－５	15	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	砂レキC	45.00	(6.7)×(6.1)×1.0	貫入岩	刃部研磨
非掲載	16	磨製扁平石器	Ⅴ－４－２	SX01	13.88	(4.865)×(4.015)×0.680	頁岩	
非掲載	17	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－２	砂レキF	22.57	4.95×5.25×0.5	流紋岩	刃部研磨
96図－７	18	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－１－１	砂レキ	105.08	(11.3)×(7.9)×1.08	流紋岩	刃部研磨
非掲載	19	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	砂レキB	102.01	5.9×7.9×1.4	流紋岩	刃部研磨
非掲載	20	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－２	砂レキE	23.08	5.2×(5.9)×0.55	頁岩	刃部研磨
96図－４	21	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	砂レキB	68.21	(6.8)×(9.3)×0.8	頁岩	刃部研磨
96図－６	22	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－４－１	灰色粗砂	28.37	(6.4)×(5.0)×0.65	玄武岩	刃部研磨
非掲載	58	大型磨製石包丁　破片	Ⅴ－１－２	細砂	8.71	(5.18)×(3.1)×0.48	?	

板状未製品　観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
98図－５	23	板状未製品	Ⅴ－１－２	暗灰砂	22.91	5.4×4.1×0.75	頁岩	擦り切り痕あり
98図－３	24	板状未製品	Ⅴ－４－２	砂レキF	121.28	6.52×6.235×1.89	頁岩	擦り切り痕あり
98図－10	25	板状未製品	Ⅴ－４－１	砂レキD	72.08	(8.8)×5.7×0.9	凝灰質泥岩	鑿痕・擦痕あり
98図－６	26	磨製扁平石器	Ⅴ－１－２	砂レキ3	23.40	6.37×4.57×0.425	頁岩	両面・側面研磨
95図－５	27	板状未製品	Ⅴ－１－３	砂レキE	59.40	(7.456)×(6.815)×0.705	頁岩	刃部なし。穿孔途中
95図－11	28	磨製扁平石器	Ⅴ－１－１		7.96	(4.8)×(3.0)×0.32	安山岩	両面研磨
97図－２	29	未製品	Ⅴ－４－２	砂レキF	11.53	5.46×3.32×0.565	頁岩	刃部は打ち欠き
98図－９	30	板状未製品	Ⅴ－１－２	砂レキ3	58.85	5.54×9.425×0.97	凝灰質泥岩(緑色凝灰岩)	擦り切り痕・擦痕あり
98図－４	31	板状未製品	Ⅴ－１－３	砂レキD	7.71	4.2×3.0×0.42	頁岩	擦り切り・研磨あり
98図－８	32	未製品	Ⅴ－４－２	砂レキF	171.13	9.0×7.8×1.745	頁岩	側面に研磨痕
97図－３	33	石包丁未製品	Ⅴ－４－２	砂レキJ	185.57	11.4×7.795×1.215	頁岩	刃部打ち欠き
非掲載	34	板状未製品	Ⅴ－１－３	砂レキD	37.89	6.7×7.6×0.4	頁岩	刃部なし。加工痕なし
非掲載	35	板状未製品	Ⅴ－１－２	砂レキ3	39.19	9.6×5.5×0.5	頁岩	刃部なし。加工痕なし
95図－８	36	石包丁未製品	Ⅴ－４－１	砂レキB	74.93	(9.42)×(8.85)×0.6	頁岩	刃部なし。加工痕なし
非掲載	37	板状未製品	Ⅴ－４－１	砂レキE	9.39	5.2×3.6×0.3	頁岩	刃部なし。加工痕なし
非掲載	38	板状未製品	Ⅴ－４－１	砂レキD	22.01	7.4×5.0×0.3	頁岩	刃部なし。加工痕なし
95図－10	59	磨製扁平石器	Ⅴ－４－２	石組SX01	13.88	4.015×4.865×0.68	頁岩	両面研磨

打製石包丁・石包丁素材観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
100図－３	39	石包丁素材	Ⅴ－１－３	砂レキE	803.78	27.9×7.1×4.3	安山岩＞流紋岩	
100図－２	40	石包丁素材	Ⅴ－１－１	砂レキ	1379.45	26.0×8.3×3.7	頁岩	縁辺を剥離
99図－３	41	石包丁素材	Ⅴ－１－１	砂レキ2	312.25	19.7×6.3×2.05	頁岩	
99図－２	42	石包丁素材	Ⅴ－１－３		317.80	16.1×5.2×2.67	流紋岩	縁辺を剥離
100図－１	43	石鎌	Ⅴ－１－２	暗灰砂	296.90	18.1×(6.5)×2.5	珪質泥岩～頁岩	
99図－１	44	石鎌	Ⅴ－４－２	砂レキG	212.01	14.4×5.43×2.15	頁岩	
非掲載	45	打製石包丁	Ⅴ－４－１	砂レキD	84.78	8.9×5.5×1.3	頁岩＞流紋岩	
非掲載	46	打製石包丁	Ⅴ－１－１	細砂	154.85	8.3×8.4×2.2	頁岩	
97図－６	47	打製石包丁	Ⅴ－４－２	砂レキF	134.74	11.5×6.6×1.805	流紋岩	
非掲載	48	打製石包丁	Ⅴ－４－３	砂レキB	185.66	10.9×6.8×2.1	頁岩	
97図－４	49	打製石包丁	Ⅴ－４－２	砂レキF	166.67	6.6×11.6×2.04	頁岩	刃部の一部は研磨
非掲載	50	打製石包丁	Ⅴ－４－１	砂レキE	108.57	9.6×7.1×1.2	頁岩	
97図－５	51	打製石包丁	Ⅴ－４－１	砂レキD	174.69	10.1×6.6×2.00	玄武岩＞安山岩	
非掲載	52	打製石包丁	Ⅴ－４－３	砂レキX	151.67	9.4×6.2×1.9	頁岩	
非掲載	53	打製石包丁	Ⅴ－４－２	砂レキF	109.15	10.4×6.3×1.0	頁岩	未製品
非掲載	54	打製石包丁	Ⅴ－４－２	砂レキF	169.51	10.9×7.0×1.1	頁岩	
97図－１	55	石包丁未製品	Ⅴ－１－１	細砂	240.40	11.5×6.9×1.9	頁岩	未製品
98図－１	56	石鎌(打製石包丁)	Ⅴ－１－２	砂レキ3	52.36	10.0×4.3×1.185	頁岩	
非掲載	57	石鎌	Ⅴ－４－２	砂レキF	34.01	6.3×3.38×1.3	頁岩	先端のみ残存
98図－２	他－２	石鎌	Ⅴ－１－２	貝塚	68.18	(10.8)×4.0×1.35	頁岩　(珪質泥岩)	

第129表・西川津遺跡Ⅴ区出土・石器観察表（3）

太型蛤刃石斧観察表（1）

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
91図－4	1	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	529.7	(9.0)×8.5×4.845	頁岩＞安山岩	未製品。刃部のみ
非掲載	2	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	砂レキ2	700.49	(14.5)×(6.98)×(4.61)	玄武岩	未製品。刃部欠損
非掲載	3	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	SX01	831.88	(16.7)×(6.1)×(4.95)	蛇紋岩	先端は欠損
非掲載	4	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキJ	578.45	(15.5)×(5.7)×(4.72)	玄武岩	断面略方形。未製品
非掲載	5	蛤刃石斧	Ⅴ－1－3	砂レキE	678.84	(12.85)×(6.22)×(4.67)	蛇紋岩	刃部欠損
非掲載	6	蛤刃石斧	Ⅴ－4－3	砂レキA	565.46	(10.88)×(6.5)×(4.445)	頁岩＞安山岩	基部のみ
非掲載	7	蛤刃石斧	Ⅴ－1－1	南細砂	544.20	(11.6)×6.065×4.65	蛇紋岩	両端欠損。1/2残存
非掲載	8	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキA	340.96	(11.5)×5.5×4.545	蛇紋岩	両端欠損。1/3残存
92図－2	9	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	砂レキ3	501.60	(13.6)×5.225×4.835	蛇紋岩	9割残存
92図－6	10	蛤刃石斧	Ⅴ－4－3	砂レキA	282.74	(6.8)×5.495×4.355	頁岩	基部のみ
91図－6	11	蛤刃石斧	Ⅴ－4－3	砂レキA	274.88	11.6×5.11×3.045	頁岩＞安山岩	縄文系
非掲載	12	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキJ	314.22	11.15×4.45×3.495	蛇紋岩	
非掲載	13	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	貝塚	331.91	(9.4)×5.4×4.1	蛇紋岩	基部のみ
非掲載	14	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	暗灰粘	291.06	(10.4)×5.3×3.74	蛇紋岩	両端欠損。1/3残存
91図－3	15	蛤刃石斧	Ⅴ－1－1	南細砂	289.19	11.6×5.1×2.9	玄武岩	9割残存
92図－3	16	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	501.70	13.6×5.40×4.085	蛇紋岩	完形
非掲載	17	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	砂レキ2	298.84	(13.0)×5.1×？	玄武岩	4割残存
非掲載	18	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	174.88	(7.3)×(5.62)×(3.6)	蛇紋岩	先端部のみ残存
非掲載	19	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	暗灰細砂	200.83	(8.7)×4.5×？	蛇紋岩	刃部側1/2残存
非掲載	20	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキC	340.48	(10.73)×(5.35)×(4.315)	玄武岩	断面略方形。未製品
92図－5	21	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	暗灰砂	169.00	(6.8)×(5.2)×(4.2)	蛇紋岩	刃部のみ
非掲載	22	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキB	47.18	(6.7)×(3.7)×(2.15)	玄武岩	刃部のみ。整正品
92図－1	23	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	585.82	(14.5)×6.5×3.3	蛇紋岩	薄型。両端欠損
91図－5	24	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	659.59	15.8×8.1×3.4	安山岩	薄型。ほぼ完形
92図－4	26	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	地山上	142.92	(10.5)×(5.05)	蛇紋岩	刃部のみ
非掲載	27	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	163.21	(12.9)×4	蛇紋岩	側面のみ残存
非掲載	28	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキE	192.76	(12)×4.8	蛇紋岩	側面のみ残存
非掲載	29	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2	暗灰砂	151.92	(13.1)×4	蛇紋岩	側面のみ残存
非掲載	30	蛤刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキC	32.33	(7)×2.8	流紋岩	側面のみ残存
非掲載	31	蛤刃石斧	Ⅴ－1－2		99.41	(12.7)×5	斑岩	側面のみ残存
非掲載	32	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	193.88	(8.7)×4.9	安山岩	側面のみ残存。未製品
非掲載	33	蛤刃石斧	Ⅴ－1－3	砂レキD	152.34	(7.6)×6.2	蛇紋岩	側面のみ残存
非掲載	34	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキJ	44.51	(4.6)×4.7	蛇紋岩	側面のみ残存
非掲載	35	蛤刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキE	107.41	(3.5)×6×3.97	流紋岩	1割程度残存

環状石斧　観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
93図－1	1	打製環状石斧	Ⅴ－1－1	細砂	250.01	径14.9×1.425	頁岩	未製品
93図－3	2	磨製環状石斧	Ⅴ－4－1	砂レキC	57.45	(径9.7)×(1.9)	玄武岩	
93図－2	3	磨製環状石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	175.98	(径9.92)×2.29	玄武岩	未製品。穿孔途中

石剣・石戈観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
93図－5	剣－1	局部磨製石剣	Ⅴ－4－2	砂レキF	19.95	(6.2)×(2.7)×(1.1)	安山岩	刃部は打ち欠いている
93図－6	剣－2	打製石剣	Ⅴ－1－1		47.30	(11.5)×(3)×(1.1)	安山岩(サヌカイト)	当初は研磨をしている
93図－7	剣－3	打製石剣	Ⅴ－4－3	砂レキA	51.36	(11.4)×3.6×1.1	流紋岩	
93図－4	他－1	石戈	Ⅴ－1－3		117.69	(12.0)×(7.4)×(1.10)	珪質泥岩～頁岩	

石製紡錘車観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
94図－13	1	紡錘車	Ⅴ－1－2		26.35	4.99×0.575	安山岩	縁辺は扁平
94図－10	2	紡錘車	Ⅴ－1－3	砂レキD	65.18	6.32×1.045	頁岩	未穿孔
非掲載	3	紡錘車	Ⅴ－4－2	砂レキG	53.91	6.52×0.935	頁岩	
94図－12	4	紡錘車	Ⅴ－4－2	砂レキJ	9.23	4.5×0.35	頁岩	縁辺が刃部状になる
94図－11	5	紡錘車	Ⅴ－4－3	砂レキB	5.75	4.2×4.6×0.23	頁岩	

打製石斧観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
非掲載	1	打製石斧	Ⅴ－4－1	砂レキE	551.03	(14.4)×10×2.3	玄武岩	基部欠損
90図－1	2	打製石斧	Ⅴ－4－1	砂レキE	190.61	12.0×7.505×2.165	流紋岩	
91図－1	3	打製石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	179.60	10.7×6.7×1.91	玄武岩	刃部は研磨される
90図－3	4	打製石斧	Ⅴ－4－1	砂レキA	391.31	16.75×7.5×2.7	ディサイト＜流紋岩	
非掲載	5	打製石斧	Ⅴ－4－3	砂レキZ	99.42	(7.9)×6.5×1.175	安山岩？	基部のみ残存
90図－4	6	打製石斧	Ⅴ－4－3	砂レキB	129.86	(8.3)×5.835×1.795	流紋岩	基部のみ残存
90図－5	7	打製石斧	Ⅴ－1－1	砂レキ2	223.37	13.85×6.5×1.7	流紋岩	
90図－2	8	打製石斧	Ⅴ－2－2	SR01	334.42	15.5×6.375×2.41	流紋岩	
91図－2	9	打製石斧	Ⅴ－2－2	SR01	139.07	11.2×6.175×1.895	玄武岩	一部磨製
89図－5	10	打製石斧	Ⅴ－2－2	SR01	237.23	14.1×7.7×2.195	玄武岩	
89図－4	11	打製石斧	Ⅴ－1－1	砂レキ2	202.92	(11.0)×6.7×2.29	玄武岩	
89図－3	12	打製石斧	Ⅴ－1－2	砂レキ3	156.96	11.5×6.04×2.125	玄武岩	中間でくびれる

磨製片刃石斧観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
94図－9	1	柱状片刃石斧	Ⅴ－1－2		79.15	(6.1)×(3.0)×2.6	珪質泥岩	
94図－5	2	小型方柱状片刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	26.80	7.8×1.3×1.1	(凝灰質)頁岩	
94図－4	3	小型方柱状片刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	39.84	(8.7)×1.5×1.6	頁岩	丁寧な調整
94図－6	4	小型方柱状片刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキB	14.51	6.7×1.1×1.1	(凝灰質)頁岩	
94図－7	5	小型方柱状片刃石斧	Ⅴ－1－3	砂レキD	14.96	5.68×1.32×0.975	凝灰質泥岩	
94図－3	6	小型方柱状片刃石斧	Ⅴ－4－2	砂レキF	11.06	8.5×5.5×1.1	頁岩	やや軟質
94図－2	7	扁平片刃石斧	Ⅴ－1－3	砂レキD	16.20	5.2×1.8×0.7	凝灰質泥岩	
非掲載	8	扁平片刃石斧	Ⅴ－1－2		6.81	(2.82)×(2.23)×1.165	(凝灰質)頁岩	
94図－8	9	変形扁平片刃石斧	Ⅴ－4－1	砂レキD	55.85	8.0×3.2×1.2	玄武岩	
94図－1	10	扁平片刃石斧	Ⅴ－1－1		54.88	8.25×2.3×0.95	凝灰質泥岩	
非掲載	11	扁平片刃石斧	Ⅴ－4－2		10.77	(3.0)×(3.0)×0.7	安山岩	
非掲載	12	扁平片刃石斧	Ⅴ－4－3	砂レキA	115.19	9.8)×4.72×1.505	頁岩	

第130表・西川津遺跡Ｖ区出土・石器観察表（４）

砥石　観察表

図面番号	台帳番号	種　　別	調査区	出土層位	重量(g)	長さ×幅×厚さ(cm)	石　　材	備　　考
非掲載	1	砥石	Ｖ－1－2		106.19	7.21×4.2×2.67	砂岩	
101図－6	2	砥石	Ｖ－4－1	砂レキC	241.01	(6.5)×4.2～5.3×4.3～4.8	砂岩	4面研磨
101図－3	3	砥石	Ｖ－4－1	砂レキA	90.55	(7.2)×6.1×1.1～1.4	砂岩	2面研磨
101図－5	4	砥石	Ｖ－4－2		408.95	9.4×7.5×3.8	流紋岩	2面研磨
101図－1	5	砥石	Ｖ－4－1	砂レキE	749.3	15.5×6.22×5.815	凝灰岩	8面研磨
非掲載	6	砥石	Ｖ－1－2	砂レキ3	159.25	8.1×3.1×3.8	流紋岩	
101図－4	7	砥石	Ｖ－1－1	細砂	1456.08	(10.5)×(8.3)×(3.15)	凝灰質泥岩	2面研磨
101図－2	玄－1	素材(砥石)	Ｖ－4－2	砂レキF	1479.58	(10.7)×11.7×8.8	玄武岩	五角柱のうち2面研磨
非掲載	玄－2	素材(砥石)	Ｖ－1－3	砂レキE	684.58	(15.8)×(5.78)×(4.625)	玄武岩	
非掲載	玄－3	素材(砥石)	Ｖ－1－1	細砂		(23.8)×(9.8)×(9.68)	玄武岩	

第131表・西川津遺跡Ｖ区包含層出土・黒曜石統計表

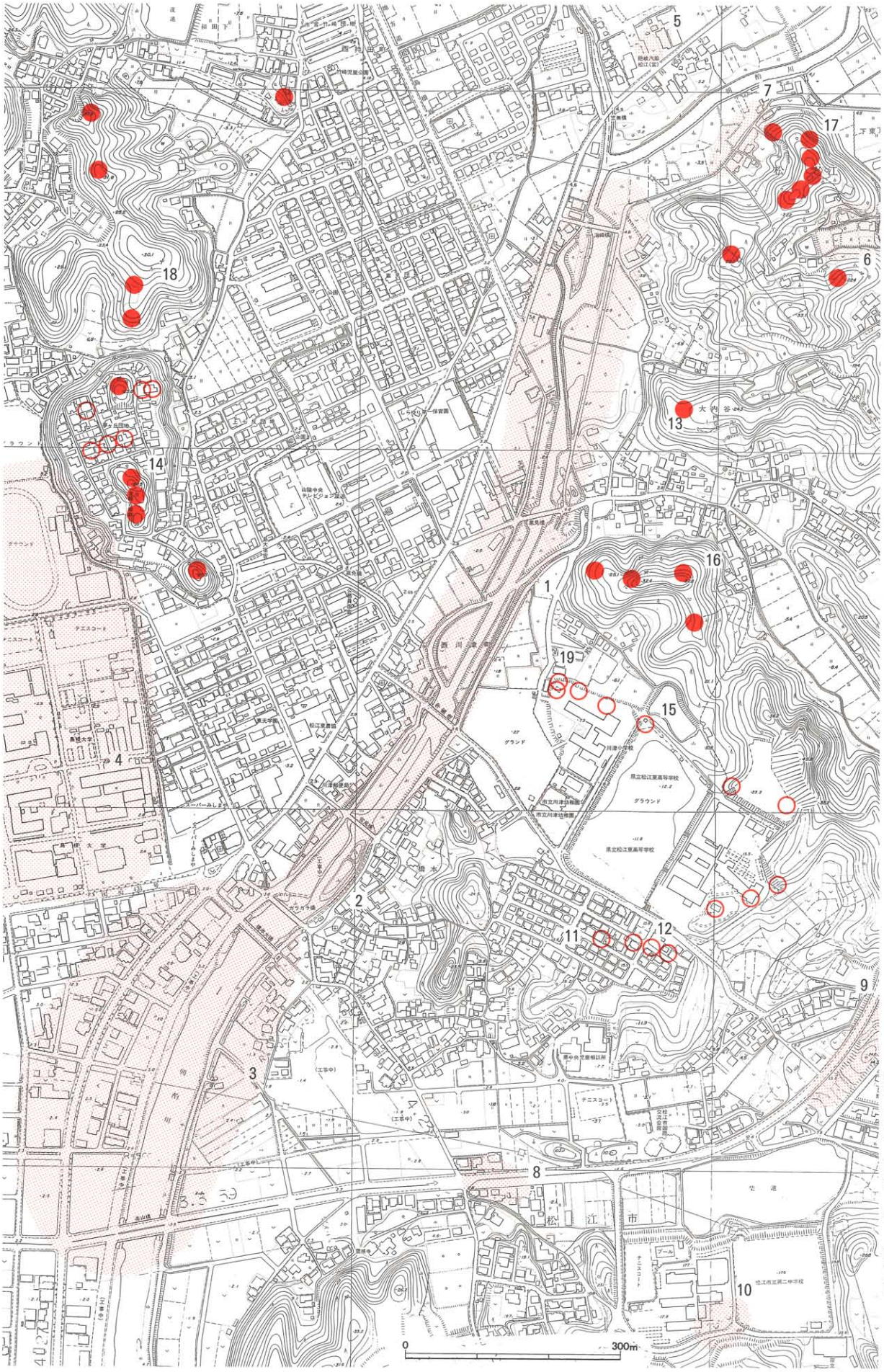
ランク(g)	個体数（個）	総重量（g）
0.1	117	75.42
1	161	234.16
2	145	628.96
3	103	356.79
4	84	372.41
5	70	382.41
6	50	320.22
7	58	434.82
8	44	88.33
9	35	330.89
10	22	231.41
11	26	299.08
12	21	262.32
13	20	270.59
14	23	335.17
15	11	170.91
16	8	131.18
17	11	191.84
18	9	166.41
19	6	116.01
20	9	185.05
21	8	171.05
22	5	112.08
23	5	118.58
24	4	97.0
25	3	76.15
26	5	132.76
27	2	54.98
28	1	28.03
29	0	0
30	3	91.26
31	5	157.41
32	3	98.21
33	3	101.43
34	2	68.99
35	1	35.11

ランク(g)	個体数（個）	総重量（g）
36	1	36.5
37	0	0
38	3	115.67
39	1	39.99
40	1	40.71
41	0	0
42	2	85.36
43	0	0
44	0	0
45	1	45.9
46	0	0
47	1	47.1
48	0	0
49	0	0
50	0	0
51	0	0
52	2	104.98
53	0	0
54	1	54.62
55	0	0
56	1	56.66
57	1	57.41
58	1	58.36
66	1	66.5
86	1	86.0
90	1	90.39
92	2	185.29
100	2	203.49
113	1	113.66
124	1	124.23
142	1	142.23
158	1	158.55
196	1	196.62
800	1	852.18
1200	1	1292.02
1600	2	3311.04
総　計	1083	6927.42

第132表・西川津遺跡Ⅴ区出土・木製品観察表

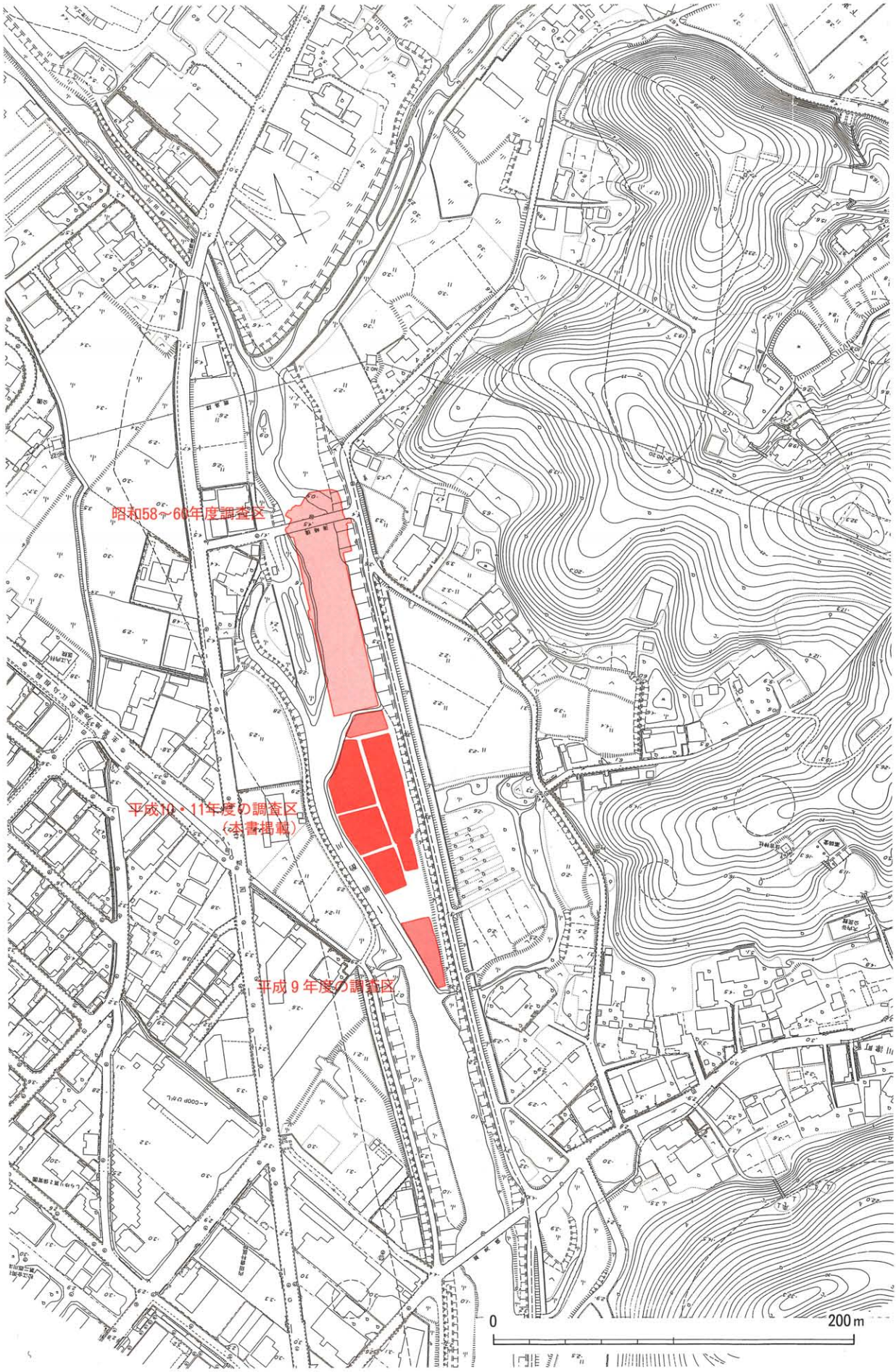
挿図番号	調査区	層位	種別	寸法（cm） 全長	幅	厚さ	樹種	残存度	時期	備考
102図－1	V－1－2	暗茶褐色粘	ナスビ形三又鍬先	18.6		1.2	アカガシ亜属	基部のみ	4世紀以前	曲柄平鍬D式 笠部幅10.1cm
－2	V－1－3	砂レキD	ナスビ形鍬先	41.9	15.7	1.0	アカガシ亜属	先端が一部欠損	5世紀後半～	曲柄平鍬DⅠ式 笠部幅10.7cm
－3	V－1－3	砂レキD	ナスビ形鍬先?	26.0	13.9	1.0	アカガシ亜属	約1/2		曲柄平鍬？
－4	V－1－3	上層砂	組合せ式鋤	23.5	推定20cm	1.8	アカガシ亜属	約1/2	5世紀後半～	鉄製U形鋤先の装着痕跡鋤身刃部断面Ⅰ式。角肩2種
－5	V－1－1	細砂	木製鋤？	30.6	8.2	1.3	アカガシ亜属	約1/2		又鋤DⅢ式の可能性有り
－6	V－1－3	砂レキD	オール状木製品（掘り棒）	11.6	8.7	1.0		基部のみ残存	5世紀後半～	
－7	V－1－3	灰色ｼﾙﾄ	直伸一木鋤	67.3	17.4	3.7	アカガシ亜属	把手は1/2欠損	5世紀後半～	鋤身刃部断面Ⅱ式。U字型鋤先を装着。角肩2種
－8	V－1－3	砂レキC	八枝櫛状工具	29.4	14.3	1.2	アカガシ亜属	歯の先端は欠損	5世紀後半～	柄は2.2×1.4cmの長方形 曲柄又鍬の可能性もあり
－9	V－4－1	砂レキD	直柄又鍬	14.0	9.4	1.4	アカガシ亜属	歯の先端は欠損	8～9世紀	歯は六枝に分かれる 孔径2.0×1.5cm
－10	V－1－2		エブリ	14.2	36.1	2.2	アカガシ亜属	完形	8～9世紀	直柄横鍬Ⅲ式 方孔径は2.9×3.1cm
103図－1	V－4－3	砂レキF	臼未製品	高さ 58.3	直径 58.1 54.7			完形	4世紀以前	未製品か？　中央が貫通している
－2	V－1－3	砂レキD	一木直伸五又鋤	81.0	19.9	2.0	アカガシ亜属	把手の先端は欠	5世紀以前	丸肩2種。鋤身刃部断面Ⅱ式
－3	V－1－3	砂レキD	不明木製品	15.5	3.1	1.9		一部のみ	5世紀後半	斜行する繰り込みを持ち、他部材と組み合わせる
－4	V－4－1	砂レキC	用途不明部材	13.0	2.6～3	1.8	アカガシ亜属	ほぼ完形	5世紀後半	かせかけ？
－5	V－1－1		用途不明木製品	10.2	2.1	5.5	スギ	一部欠損	8世紀以降	木川氏分類Ⅲa式
－6	V－1－3	砂レキD	不明木製品	4.4	4.1	1.0		一部のみ	5世紀後半	桜の皮を巻きつける
－7	V－4－2	暗灰粘	火鑽臼	25.2	2.9	1.6	スギ	転用材	5C前半以前	使用孔4カ所。未使用孔1カ所
－8	V－1－3	砂レキD	棒状木製品	46.6	7～9.5		スギ	両端は欠損	5世紀後半	1cm弱四方の棒状木製品
104図－1	V－1－1		用途不明木製品	85.0	柄径 4.3		ヒノキ	端部は欠損	9世紀以降	他の部材と組み合わせる
－2	V－4－2	暗褐色ｼﾙﾄ	部材	80.8	5.7	1.5	針葉樹	端部は欠損	5世紀後半～	端部に円孔を持つ
－3	V－1－3	しがらみ⑧	櫂（掘り棒）	89.6	9.0	1.0	アカガシ亜属	ほぼ完形	5世紀後半～	柄径2.4～3.0cm
－4	V－1－2	粗砂	天秤棒	105.0	3.1～2.3		ヒノキ	端部は欠損	5世紀後半～	端部は切り込みが入るが、全体の反りとは逆になる
－5	V－4－2	暗褐色粘質シルト	用途不明品	52.9	4.5	2.0	スギ	完形	5世紀後半～	両端をカットして丸くする
－6	V－4－2	暗褐色粘土	部材	60.2	2.3		針葉樹	先端が一部欠損	5世紀後半	端部は外周からカットする
－7	V－4－2	砂レキF 地山上	部材	57.1	材径 2.9		ヒノキ	完形	5C以前	棚か経巻具などの部材 両端に繰り込みあり
－8	V－1－2	暗灰粗砂	横槌状木製品	17.3	8.0		ツバキ	柄の先端は欠損		横槌A。柄径2.8cm
105図－1	V－4－2	砂レキJ	加工のある板材	15.3	7.9	1.8	ヒノキ	一部残存	5世紀～	繰り込みのある板材
－2	V－4－2	砂レキG	加工のある板材	24.6	16.6	1.4	スギ	一部残存	5世紀後半～	繰り込みのある板材
－3	V－4－2	暗灰シルト	加工のある板材	19.2	16.6	3.2	スギ	一部残存	9C以前	繰り込みのある板材
－4	V－1－1		脚部	19.5	9.0	2.9	スギ	脚は完形		案、椅子などの脚と考えられる
－5	V－1－3	砂レキE	不明木製品	27.0	18.3	5.9		ほぼ完形	5世紀以降	たたりの台部？ 中央に長方形孔がある
－6	V－1－2	褐灰細砂	くり込みのある板材	20.4	10.0	1.4	アカガシ亜属	一部残存		長方形の繰り込みを持つ
－7	V－1－3	砂レキA	不明木製品	16.0	12.2	3.6		一部のみ残存	5世紀以降	台形状を呈す
－8	V－1－3	砂レキA	不明木製品	6.1	9.5～8.5			完形	5世紀以降	円筒状材を頂部から4方向に削ったもの
－9	V－4－2	砂レキF	用途不明木製品	32.4	11.6	2.4	スギ	一部残存	5世紀以降	柾目板
－10	V－1－3	砂レキD	用途不明板材	35.0	16.6	2.1	針葉樹	一部残存	5世紀以降	
－11	V－1－1		用途不明木製品	74.9	6.8	6.6	クリ	柄の端部が欠損		舟食虫による孔多数。断面三角形
106図－1	V－4－2	暗褐色粘土	板目材	36.7	9.8	2.5	スギ	先端が一部欠損	5世紀後半～	建築部材？ 端部に半円形の繰り込み
－2	V－1－2	細砂	用途不明木製品	28.6	7.8	3.4	ヒノキ			2カ所に穿孔有り
－3	V－1－1	細砂	用途不明木製品	28.8	8.3	4.7	二葉松類	完形	12～13世紀	3カ所に鋏状の鉄が残る
－4	V－4－1	砂レキC	用途不明木製品	37.6	5.5	1.9	コナラ節	先端が一部欠損	8～9世紀以降	人形代状に両端から繰り込みをいれる
－5	V－1－3	砂レキD	用途不明木製品	45.6	3.9	2.0	スギ	先端が一部欠損	5世紀以降	人形代状に両端から繰り込みをいれる
－6	V－4－1	砂レキA	用途不明木製品	24.8	7.0	1.3	アカガシ亜属	完形	8～9世紀以降	笏状木製品
－7	V－4－2	砂レキF	くさび状木製品	24.3	2.4	1.9	ヒノキ	完形	5世紀前半以前	先端はヘラ状に細くなる
－8	V－1－2	暗灰細砂	曲物の底	直径 9.0		1.1	ヒノキ	約1/2	8～9世紀以降	（曲物底板周縁部形態はE） 3寸規格
－9	V－4－3	砂レキB	柾目板材	36.8	15.5	0.4	スギ	約1/2	8～9世紀以降	折敷の底部？（釘穴2カ所）
－10	V－4－1	砂レキB	曲物の底の部材	61.0	12.3	0.5	針葉樹	約1/5	9世紀以降	底板5枚で構成される2尺規格の曲物底の一枚
－11	V－1－2	砂レキ3	用途不明木製品	23.0	15.0	3.2		一部のみ残存	5世紀後半～	

挿　　図

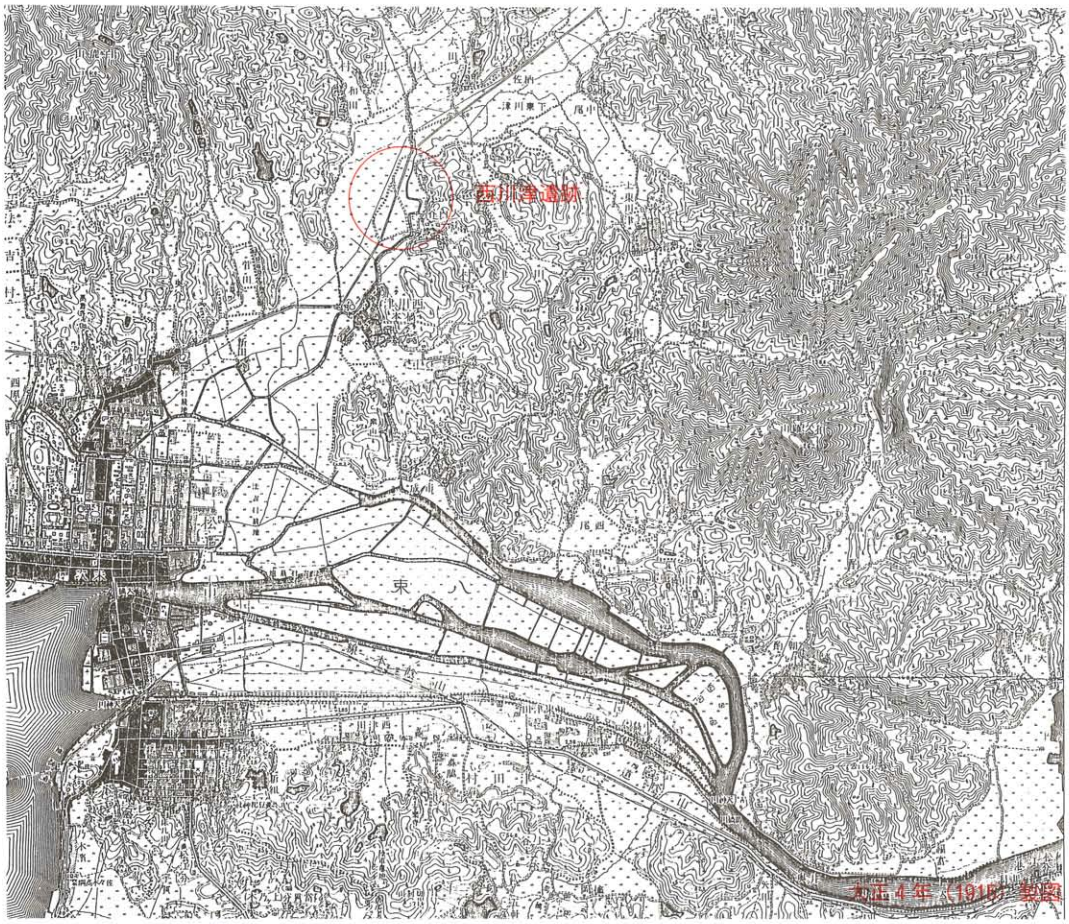


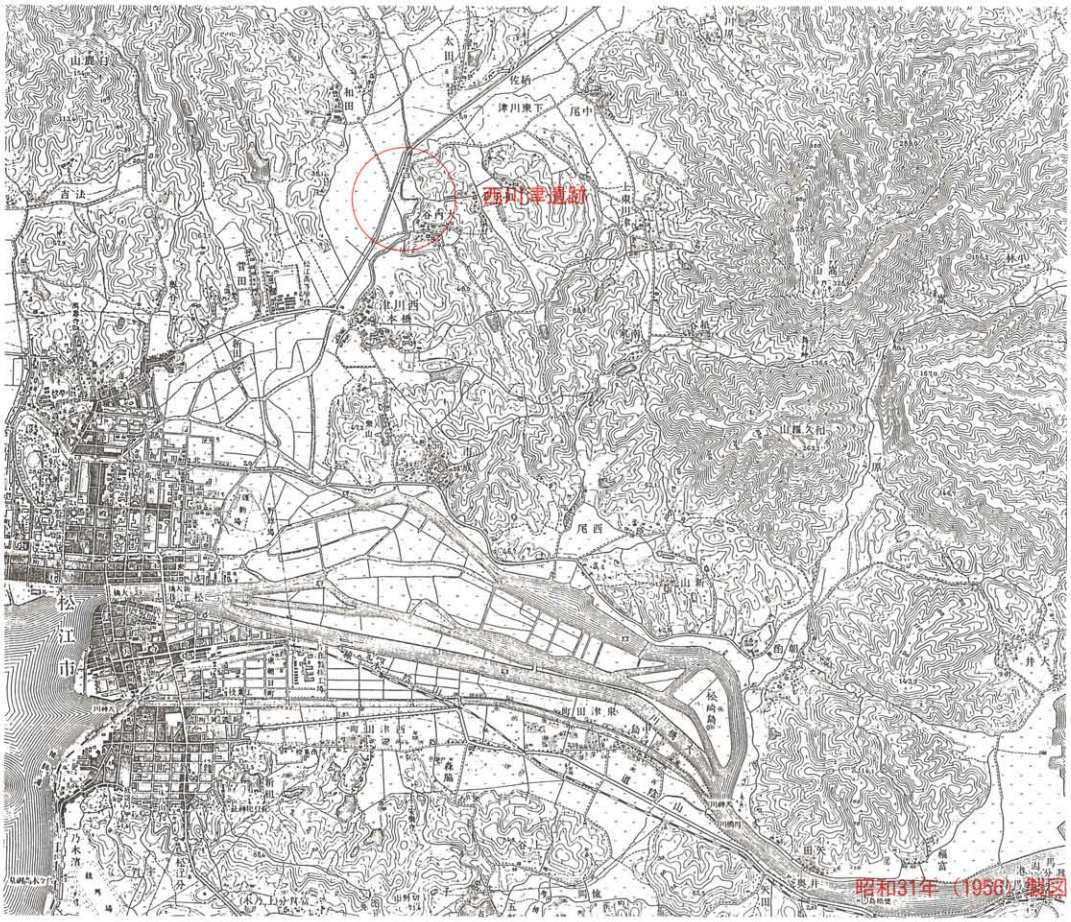
1. 西川津遺跡
2. 原の前遺跡
3. タテチョ遺跡
4. 島根大学構内遺跡
5. 散布地
6. 散布地
7. 貝塚遺跡
8. 橋本遺跡
9. 柴遺跡
10. 堤廻遺跡
11. 山崎古墳
12. 柴古遺跡
13. 住吉神社裏古墳
14. 金崎古墳群
15. 馬込山古墳群
16. 大内谷古墳群
17. 貝崎古墳群
18. 福山古墳群
19. 馬込山古墳群

第１図　西川津遺跡と周辺の遺跡

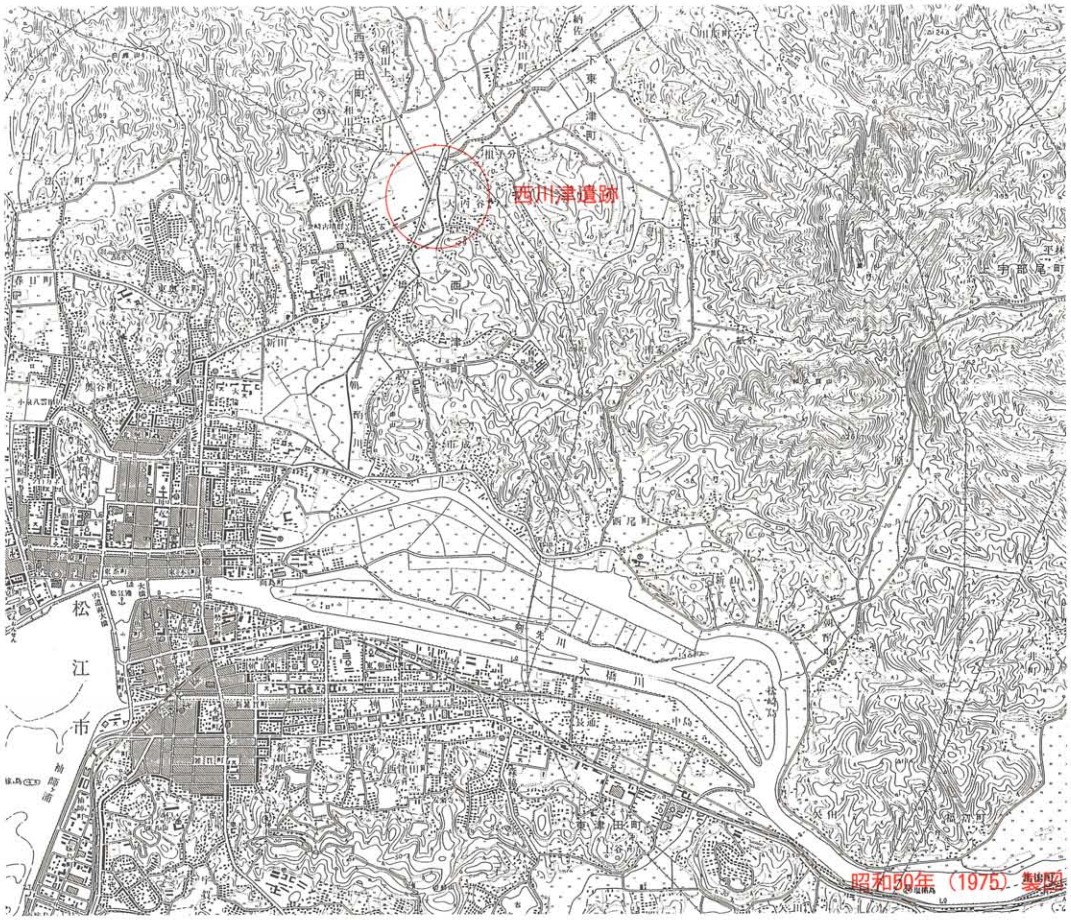


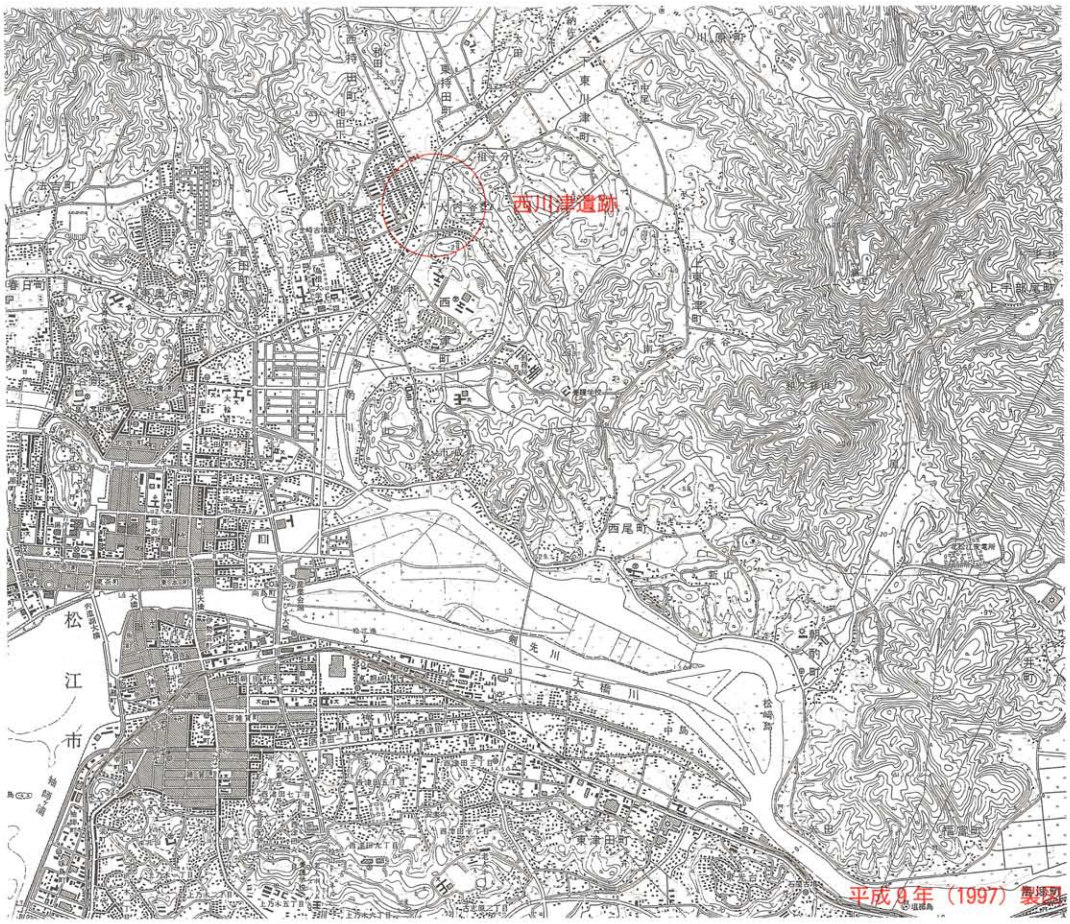
第２図　西川津遺跡・調査地周辺図（Ｓ＝1／3,000）



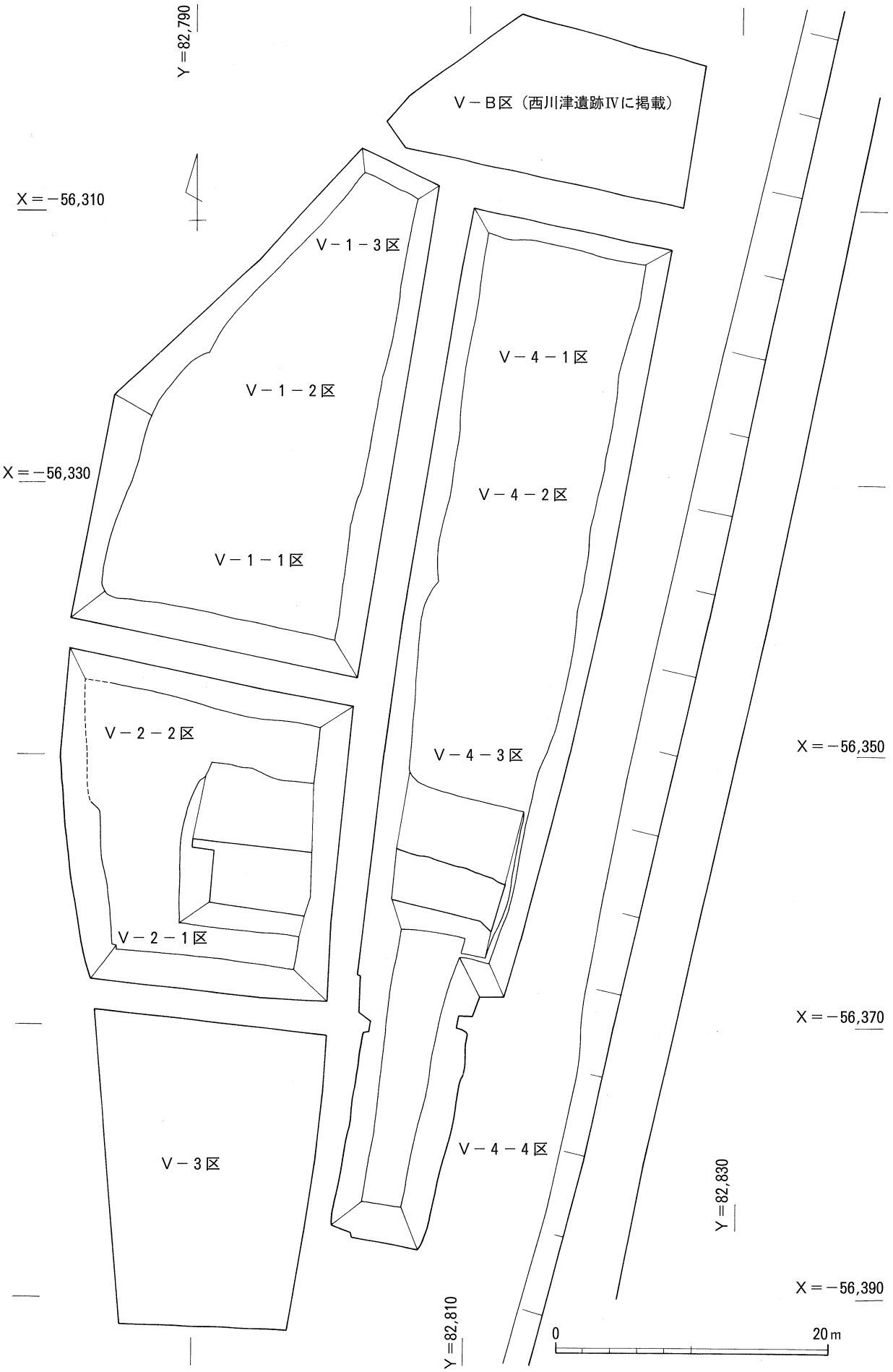


第3図　松江市北部変遷図1（S＝1／50,000）

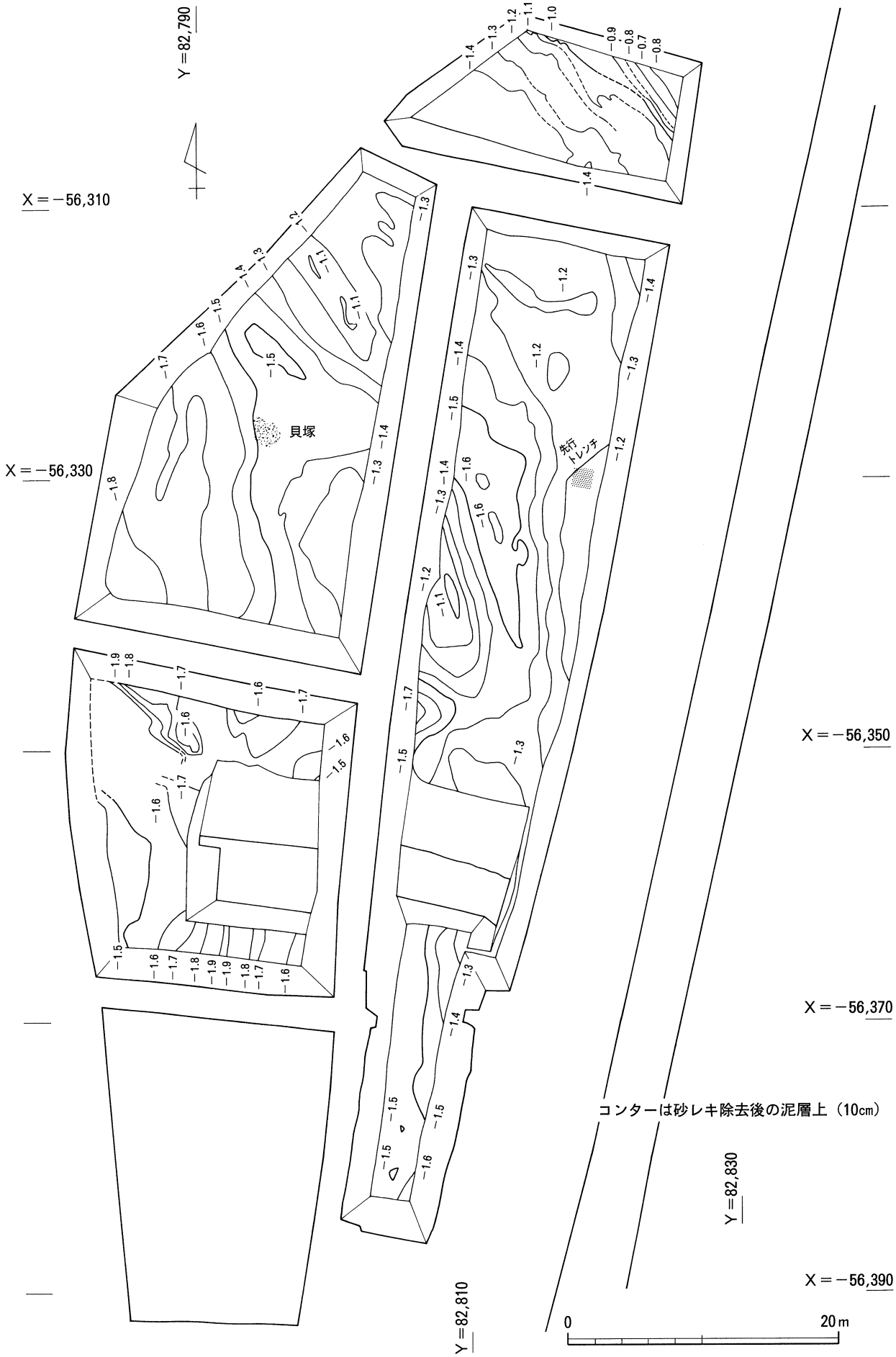




第４図　松江市北部変遷図２（Ｓ＝1／50,000）

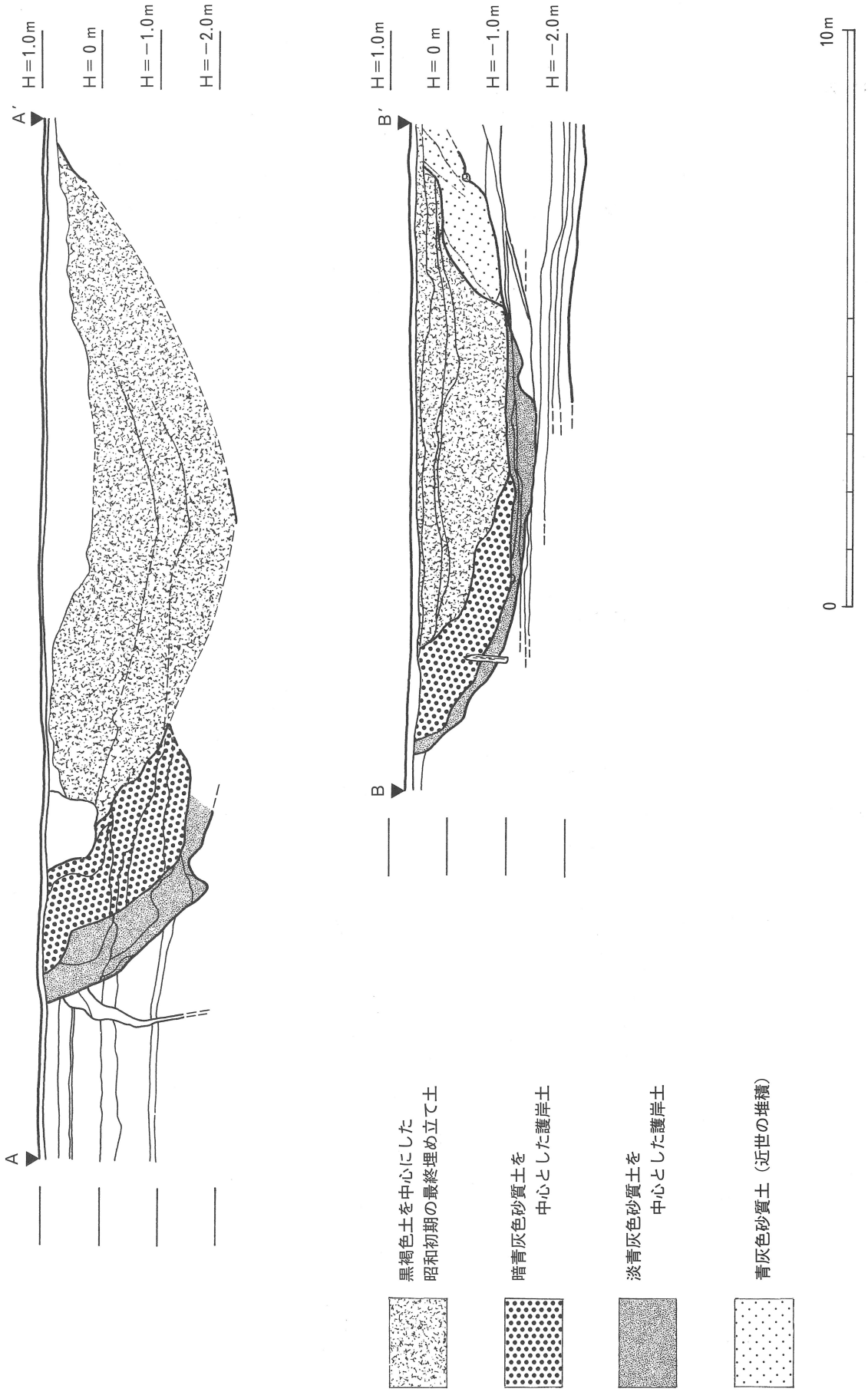


第５図　調査区配置図（Ｓ＝１／400）

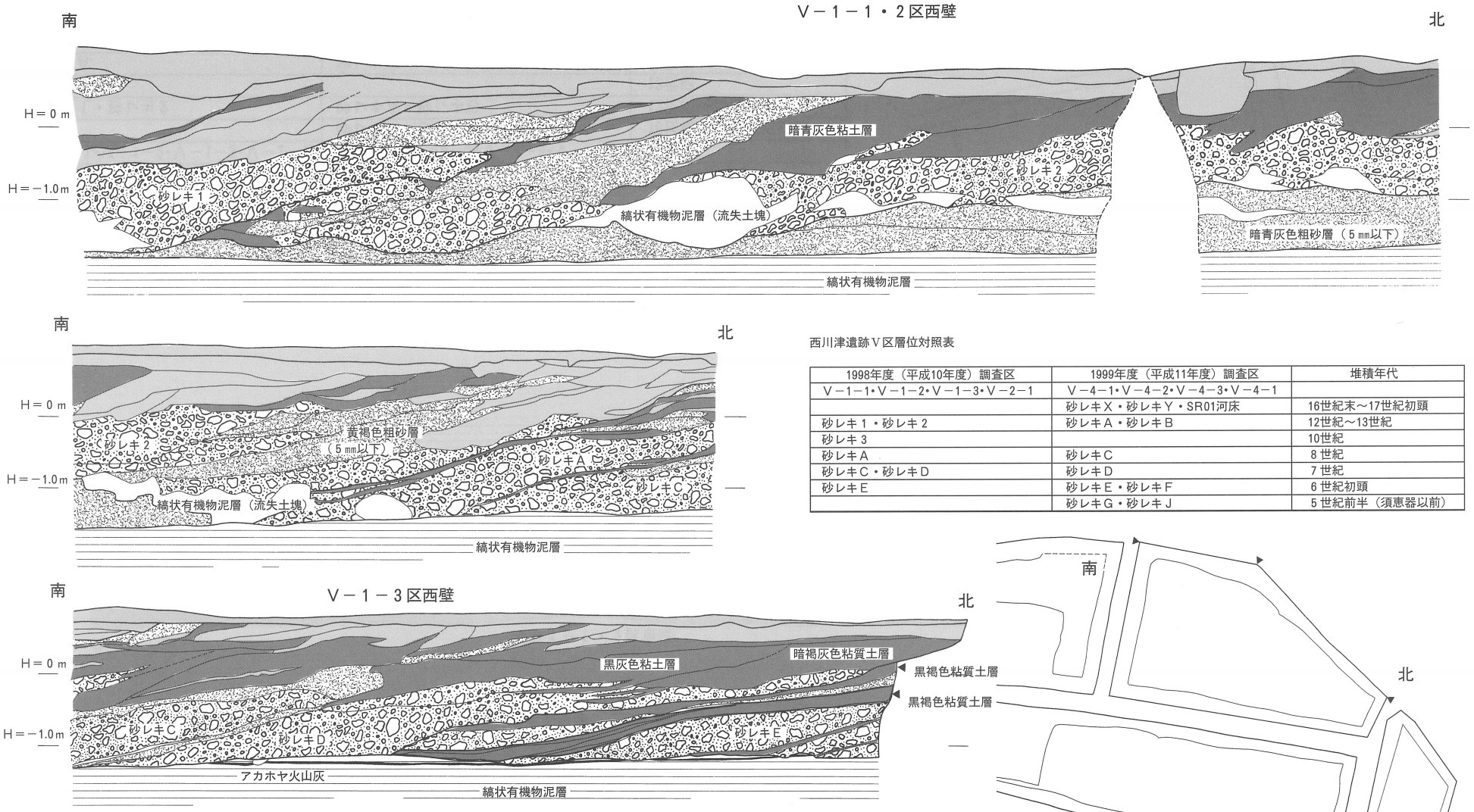


第6図　調査後地形図（S＝1／400）

第7図　SR01平面図（1／500）



第８図　SR01断面図（S＝1／100）

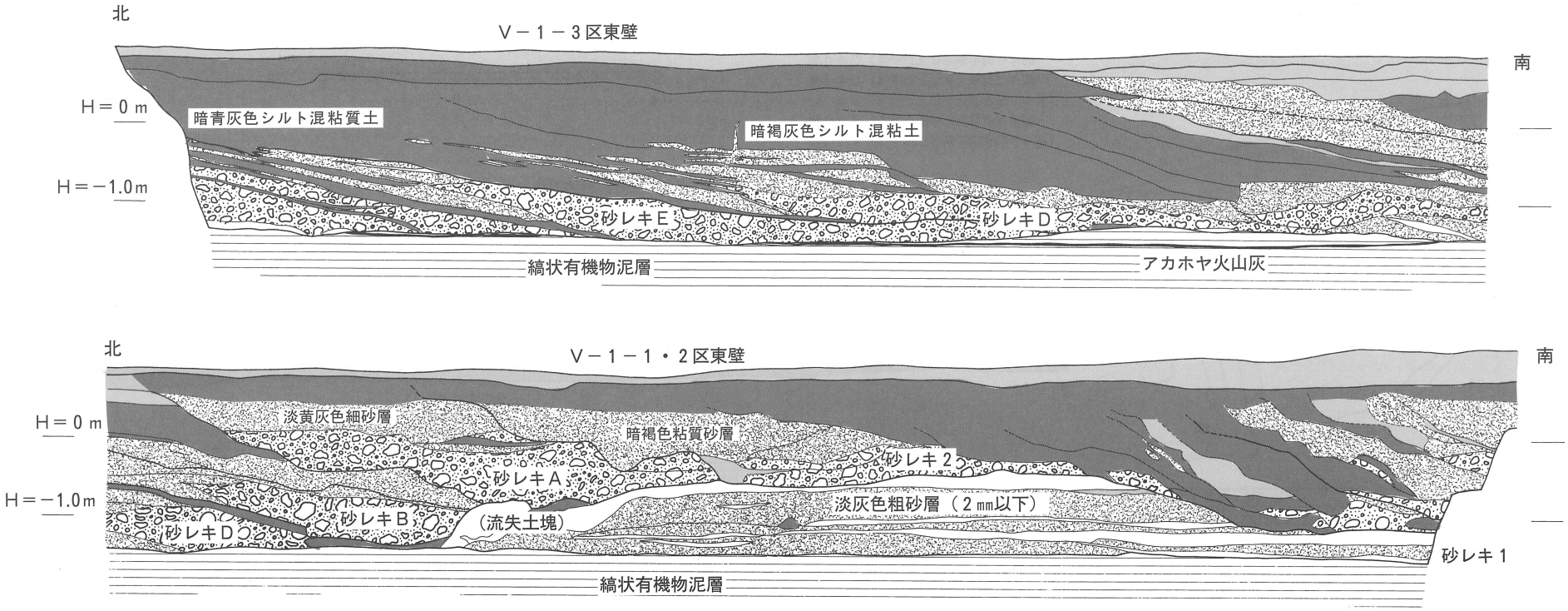


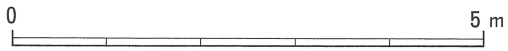
西川津遺跡Ｖ区層位対照表

1998年度（平成10年度）調査区	1999年度（平成11年度）調査区	堆積年代
Ｖ－1－1・Ｖ－1－2・Ｖ－1－3・Ｖ－2－1	Ｖ－4－1・Ｖ－4－2・Ｖ－4－3・Ｖ－4－1	
	砂レキＸ・砂レキＹ・SR01河床	16世紀末～17世紀初頭
砂レキ１・砂レキ２	砂レキＡ・砂レキＢ	12世紀～13世紀
砂レキ３		10世紀
砂レキＡ	砂レキＣ	８世紀
砂レキＣ・砂レキＤ	砂レキＤ	７世紀
砂レキＥ	砂レキＥ・砂レキＦ	６世紀初頭
	砂レキＧ・砂レキＪ	５世紀前半（須恵器以前）

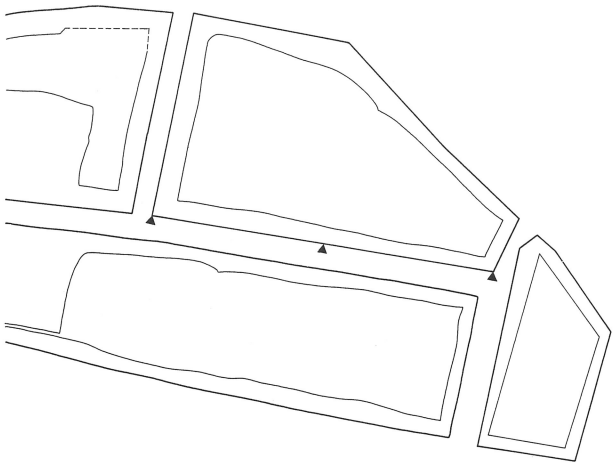
砂レキ１（５cm以下の暗黄褐色砂レキ層）
砂レキ２（５cm以下の暗灰色砂レキ層）
砂レキＡ（５cm以下の淡褐灰色砂レキ層）
砂レキＣ（８cm以下の褐灰色砂レキ層）
砂レキＤ（８cm以下の淡褐色砂レキ層）
砂レキＥ（５cm以下の淡褐灰色砂レキ層）

第９図　Ｖ－１－１・２・３区西壁実測図（Ｓ＝1／80）





砂レキ1（5㎝以下の暗黄褐色砂レキ層）
砂レキ2（5㎝以下の暗灰色砂レキ層）
砂レキA（5㎝以下の淡褐灰色砂レキ層）
砂レキB（5㎝以下の褐灰色砂レキ層）
砂レキD（8㎝以下の淡褐色砂レキ層）
砂レキE（5㎝以下の淡褐灰色砂レキ層）

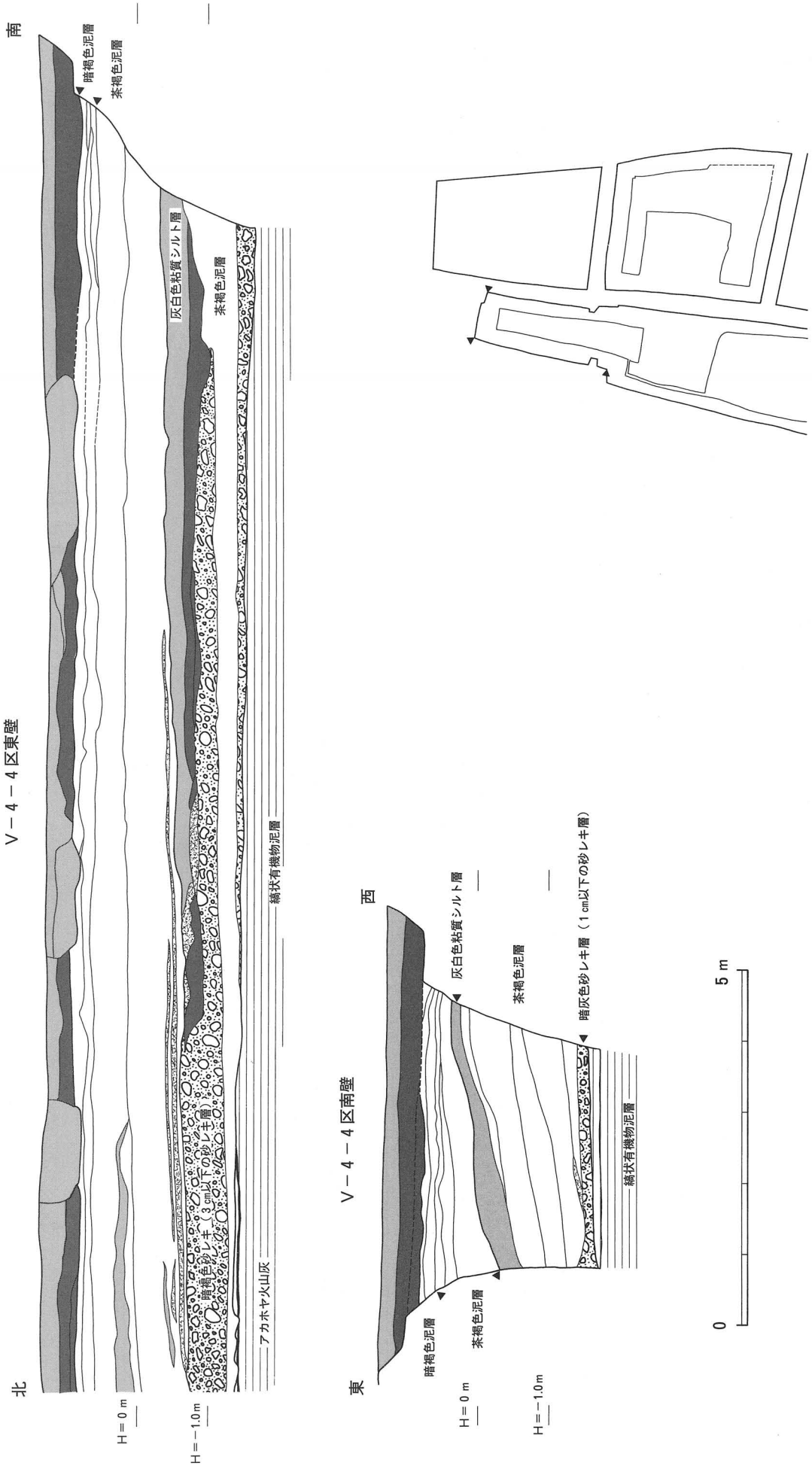


西川津遺跡V区層位対照表

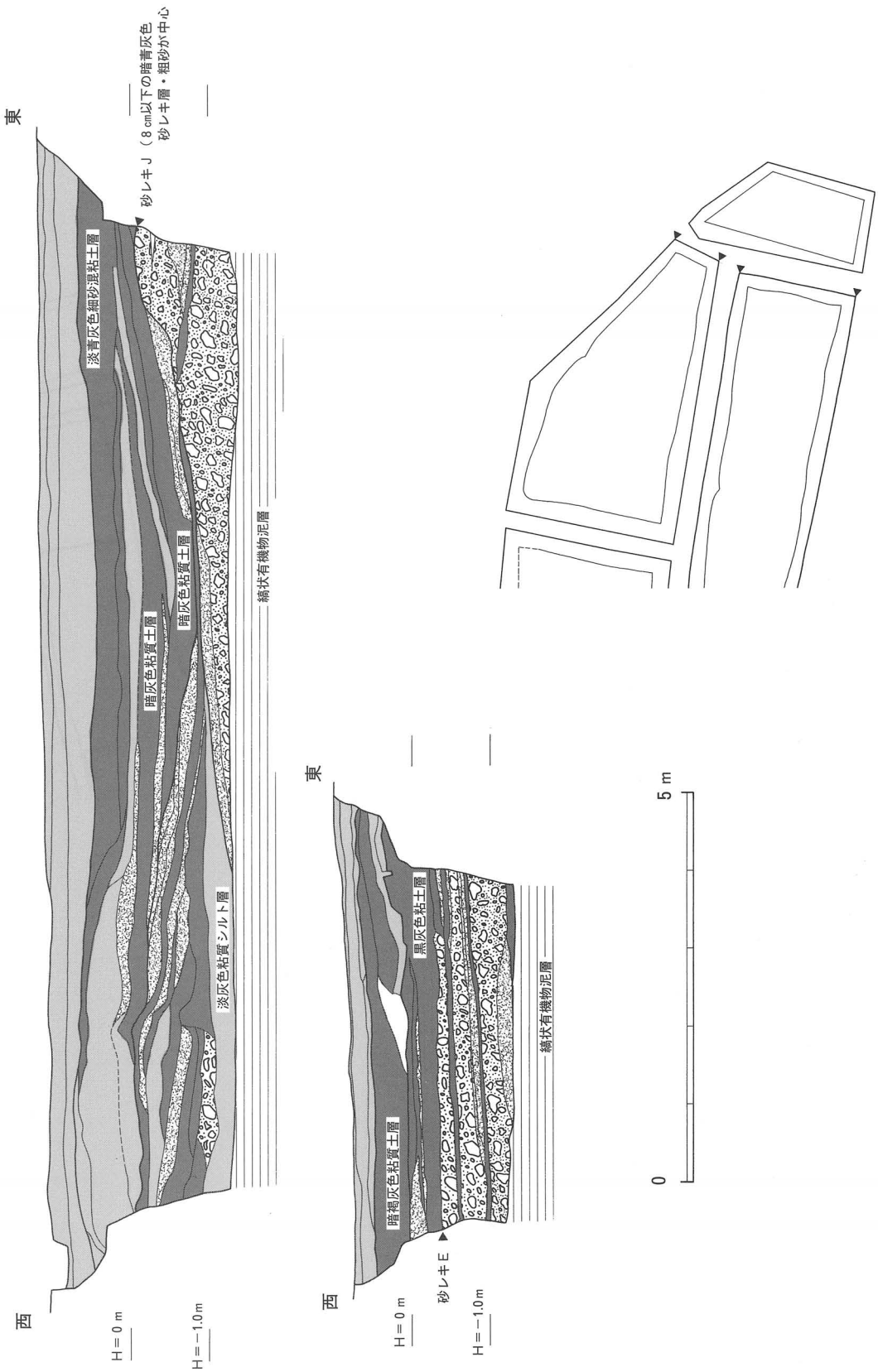
1998年度（平成10年度）調査区	1999年度（平成11年度）調査区	堆積年代
V－1－1・V－1－2・V－1－3・V－2－1	V－4－1・V－4－2・V－4－3・V－4－1	
	砂レキX・砂レキY・SR01河床	16世紀末～17世紀初頭
砂レキ1・砂レキ2	砂レキA・砂レキB	12世紀～13世紀
砂レキ3		10世紀
砂レキA	砂レキC	8世紀
砂レキC・砂レキD	砂レキD	7世紀
砂レキE	砂レキE・砂レキF	6世紀初頭
	砂レキG・砂レキJ	5世紀前半（須恵器以前）

第10図　V－1－1・2・3区東壁実測図（S＝1／80）

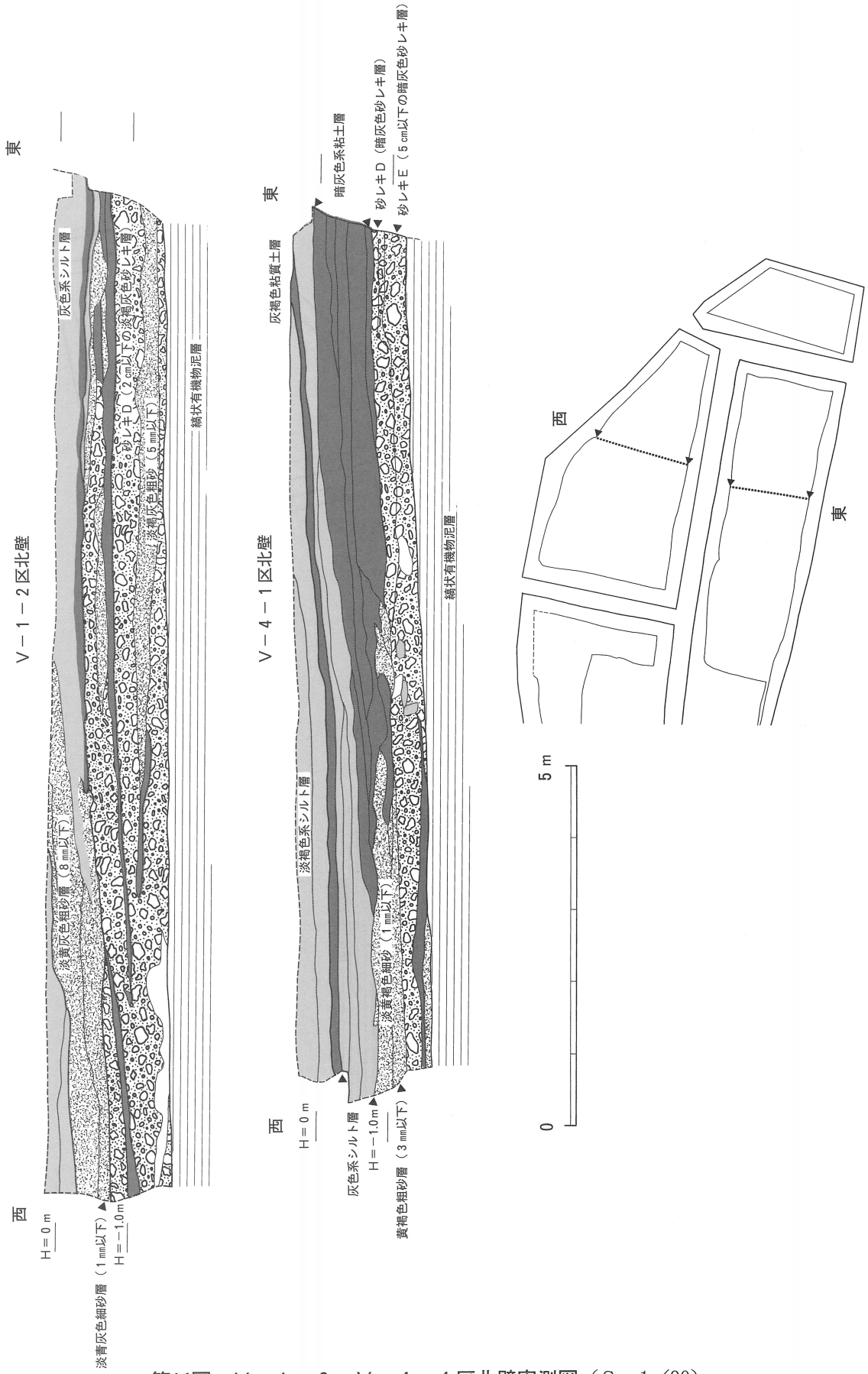
第11図　V－4－1・2・3区東壁実測図（S＝1／80）



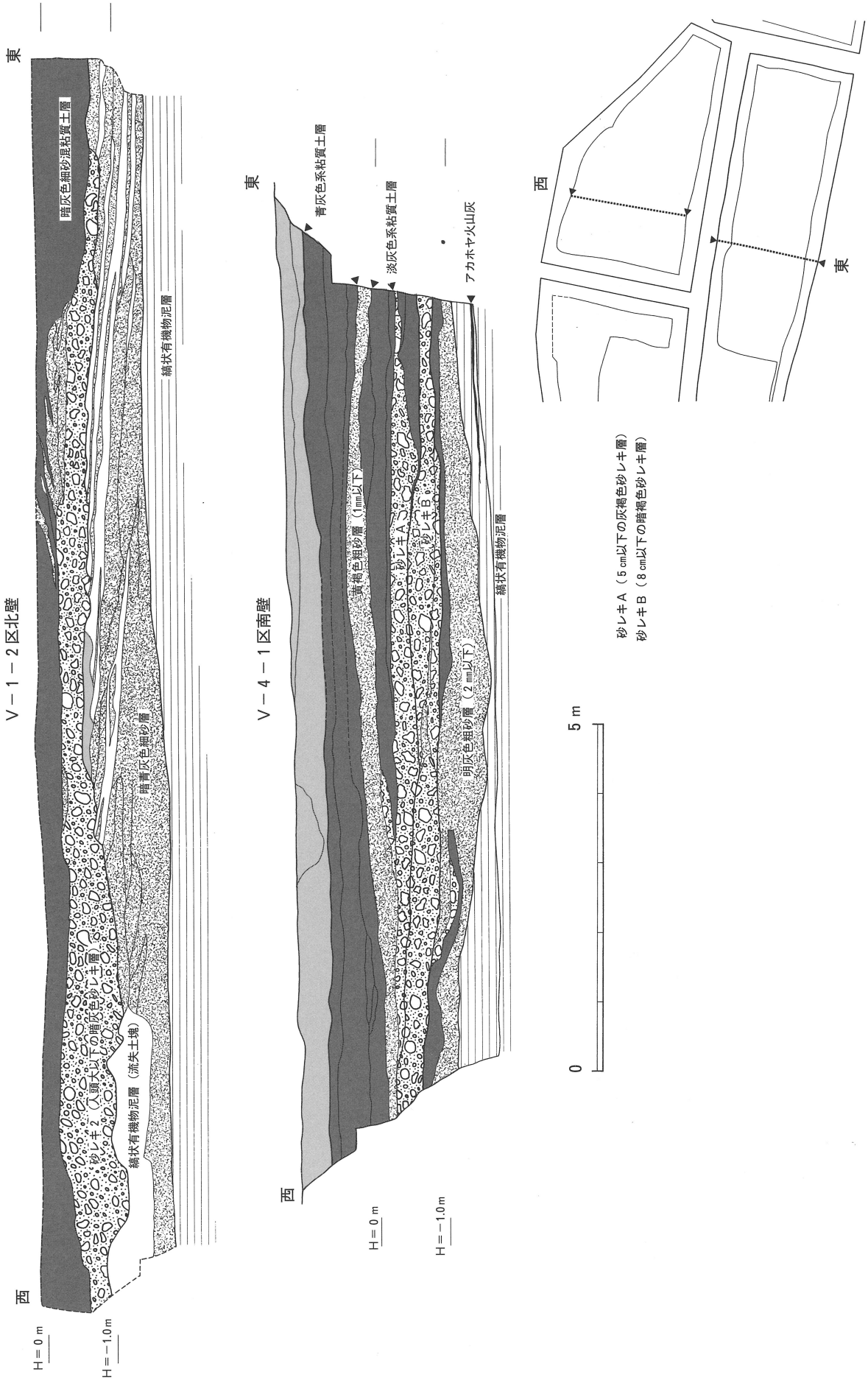
第12図　Ｖ－４－４区東・南壁実測図（Ｓ＝1／80）



第13図　Ｖ－１－３・Ｖ－４－２区北壁実測図（Ｓ＝1／80）

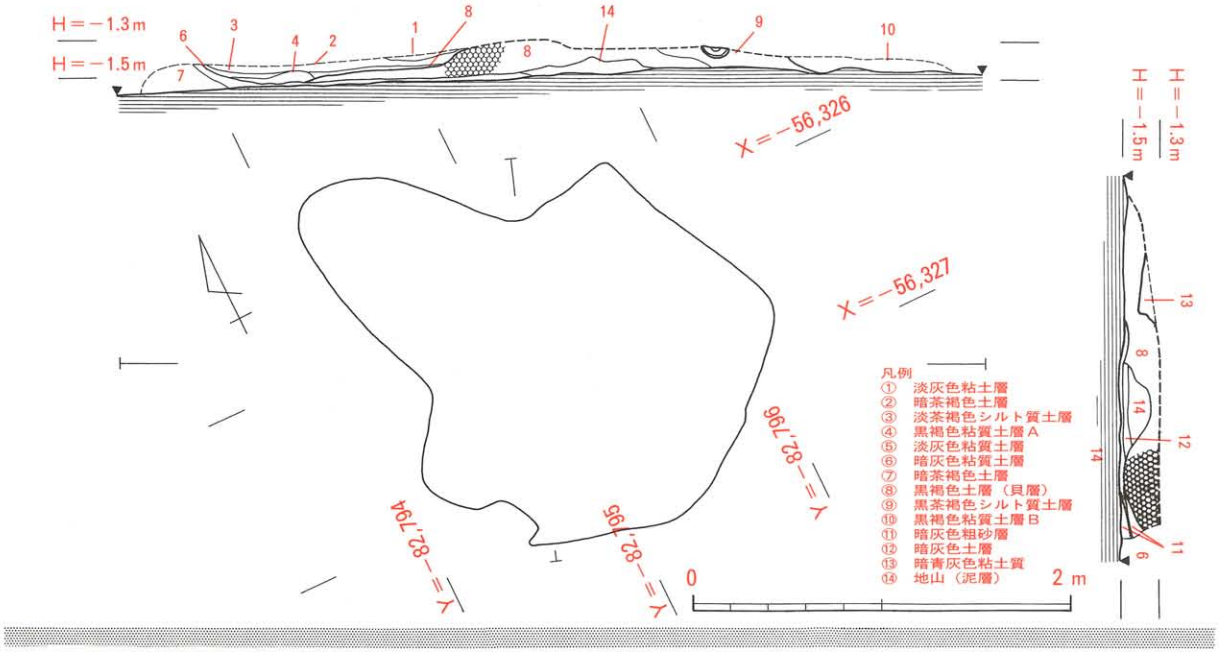


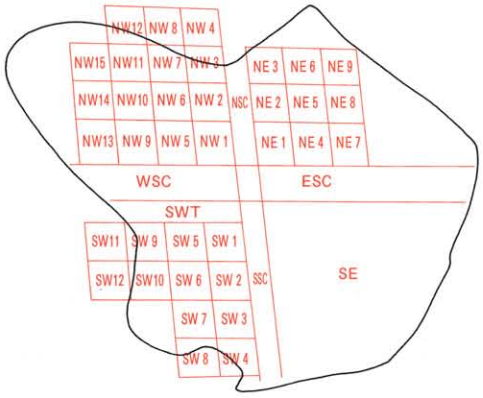
第14図　V－1－2・V－4－1区北壁実測図（S＝1／80）



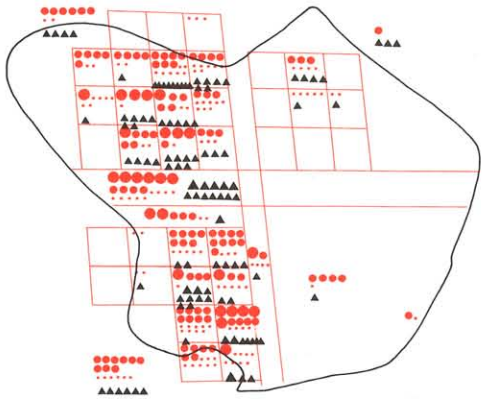
第15図　V－1－1区北壁・V－4－1区南壁実測図（S＝1／80）

第16図　V－1－1区南壁実測図（S＝1／80）

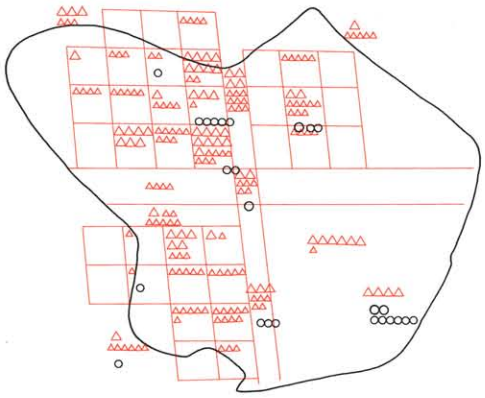




貝塚区割図



貝分布図
●シジミ（赤）大100ｇ・小１ｇ
▲アカニシ・サザエ・その他（黒）大10ｇ・小１ｇ



黒曜石・瑪瑙分布図
△黒曜石（赤）大１ｇ・小0.1ｇ
○瑪瑙（黒）大１ｇ・小0.1ｇ

ウニ分布図
■大１ｇ・小0.1ｇ

第17図　Ｖ－１－２区貝塚関連実測図（Ｓ＝1／80）